## 第Ⅲ章　鳥取県内の実践例

鳥取県では、平成 28・29 年度において、円滑な接続をめざし、接続カリキュラムの編成等の効果的な取組を推進する市町村をモデル的に支援する「幼保小連携推進モデル事業」を実施しました。県内各モデル市町において、地域の実態等に合わせ、創意工夫した実践が展開され、成果があらわれています。その実践について紹介します。

〈実践１〉

### 倉吉市（H28・29）

P21~26

全小学校・全園の取組

小学校区による
特色ある共通実践





園・小学校の交流活動の
深化・充実



一人一人の子どもの
良さを伸ばす連携・接続

〈実践２〉

### 日野町（H28・29）

P27~32

持続可能で
具体的なカリキュラム



０歳から 15 歳までの
育ちを見通し、一貫した教育

〈実践３〉

## 若桜町（H29） P33~38

町の重点課題にそった実践

身に付けさせたい力の明確化



既存の指導計画を生かした接続カリキュラム



〈実践４〉

## 鳥取市（H28・29） P39~44

互恵性のある教職員研修

分かりやすく視覚化した接続カリキュラム



幼児期に培った力を生かす実践

〈実践５〉

## 境港市（H28） P45~46

体力づくりに焦点化した実践



園で身に付けた力を小学校の教科学習につなぐ実践

子どもの興味・関心を大切にした体育学習

# 〈実践１〉 倉　吉　市

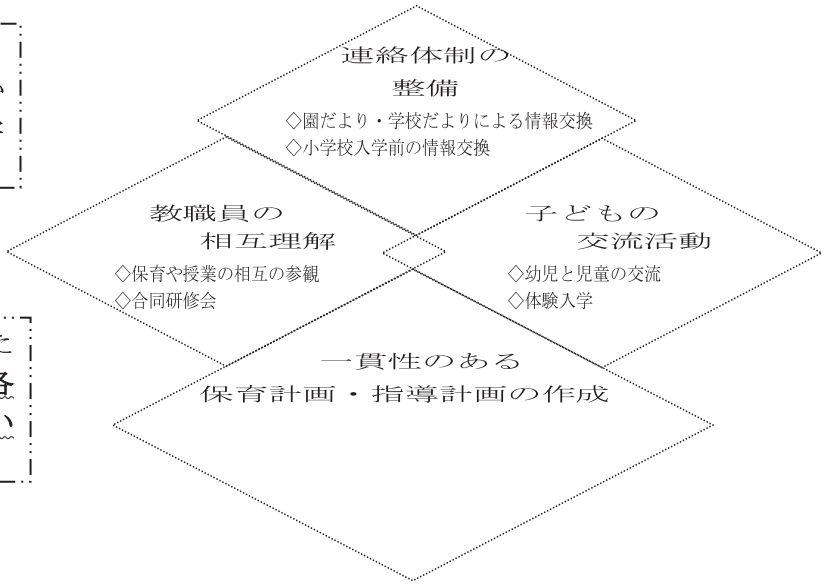
倉吉市では公私立や園種、校種の枠を越え、市内全ての園と小学校が一緒になって倉吉市幼児教育研究会（平成２１年度から園長と小学校長で組織）を立ち上げ、情報交換し円滑な接続をめざしています。

## 組　織　を　つ　な　ぐ

＜倉吉市の子ども達の就学の状況＞
園や学校の規模にかかわらず、１つの園から多数の小学校に入学したり１つの小学校に多数の園から入学したりします。

豊富な体験によって幼児期に身に付けた学びの基礎が、**どの小学校に就学しても各教科の本格的な学びの力につながっていく**ことが大切であると考えています。

***倉吉市幼児教育研究会***




**～全ての園と小学校が連携できる体制づくり～**

○幼保小の円滑な接続に向けて、「倉吉のめざす子どもの姿」を作成
○倉吉市の全小学校、公・私立保育園、幼保連携型認定こども園が連携できる体制
○「年間連携推進計画」や「交流実施計画」等は倉吉市で様式を統一した上で、校区の実態や課題に合わせて作成・実践

互いの学びにつながる交流とするため、各小学校区が工夫した実践をしています。



倉吉市幼児教育研究会

| | |
|---|---|
| 西郷小学校区 | 西郷保　ババール園　キンダーガーデン　倉吉東こども園　西郷小 |
| 河北小学校区 | 上井保　ひかり保　あゆみ保　鳥取短期大学附属こども園　河北小 |
| 明倫小学校区 | 倉吉西保　ひまわり保　聖テレジアこども園　明倫小 |
| 成徳小学校区 | 倉吉愛児園　めぐみ保　倉吉幼稚園　成徳小 |
| 上灘小学校区 | どんぐり保　うつぶき保　上灘小 |
| 小鴨小学校区 | 小鴨保　西倉吉保　小鴨小 |
| 上小鴨小学校区 | 上小鴨保　上小鴨小 |
| 北谷小学校区 | 北谷保　北谷小 |
| 高城小学校区 | 高城保　高城小 |
| 社小学校区 | 社保　向山保　みのり保　社小 |
| 灘手小学校区 | 灘手保　灘手小 |
| 上北条小学校区 | 上北条保　上北条小 |
| 関金小学校区 | 関金保　関金小 |

**倉吉市連携推進体制**
**公立保育園・私立保育園**
**私立幼保連携型認定こども園・公立小**

# 人　を　つ　な　ぐ

## ◇園児と児童の交流

子どもの発達を把握し、園児や児童が主体的に活動できるように、交流のねらいを明確にしています。また、学びの連続性を意識した活動内容にするために、事前の話合いを大切にしています。交流実施計画の様式には、「考察」の欄を設けて交流後の話合いを位置付け、その後の遊びや学習への発展及び次年度に生かすようにしています。

### ○互恵性を大切にした交流活動（上北条小学校区）

平成２９年度　交流実施計画　「小学校で運動遊び交流をしよう」

1　日　時　　平成２９年１１月９日（木）　　８時５０分　～　９時５０分
2　場　所　　上北条小学校校庭（雨の場合：体育館）
3　参加者　　上北条小学校５年生　２４名、上北条保育園年長児　１１名
4　ねらい

| 年長児 | ５年生 |
|---|---|
| ○小学校にどんな遊具があるかを知り、５年生と一緒に運動遊びをすることで、入学への期待を持つ。<br>○小学生と楽しく運動遊びをすることを通して、広いグランド（体育館）で力いっぱい体を動かすことを楽しむ。 | ○校庭の遊具の遊び方を園児にわかりやすく紹介する。<br>○園児と楽しく運動遊びをすることを通して、つながりを深めていく。 |

5　評価
年長児　校庭の遊具の遊び方を知り、５年生と一緒に運動遊びを楽しんでいる。（行動・発言）
５年生　園児に校庭の遊具の遊び方をわかりやすく伝え、一緒に運動遊びを楽しんでいる。（行動・発言）

6　活動の流れ（雨の日：体育館）

| 時間 | 活動 | 年長児に対する配慮・支援等 | ５年生に対する配慮・支援等 |
|---|---|---|---|
| 8:50 | １、あいさつをする。 | | |
| | ２、準備運動（エビカニクス）をする。 | ○保育園で踊っているエビカニクスを準備運動として取り入れることで、緊張をほぐし意欲的に参加できるようにする。 | ○一緒に楽しくできるように事前に曲を聞いておく。 |
| 8:55 | ３、運動遊びの説明をする（５年生）。 | ○どんな運動遊びをどこでするのか、わかりやすくするために地図を使って説明する。 | ○準備した地図を使って、ゆっくりていねいに話すように伝える。 |
| 9:05 | ４、体育館で遊ぶ。<br>○レーザービーム<br>・長縄に引っかからないように、跳んだりしゃがんだりする。 | ○引っかかってこけてしまうことがあることを事前に伝えておく。 | ○園児の思いを聞きながら、声かけをしたり手をつないだりする。 |
| 9:15 | ○かんたんサスケ<br>・体育館を使ったアスレチックコースをまわる。（１周目はルートに従って進むが、２周目は好きな所に行って遊ぶ）<br>①　フラフープを並べてケンケンパをする。 | ○保育園で取り組んでいるマット運動やなわとびを取り入れることで、自信を持って遊ぶことができるようにする。<br>○ペアの５年生に自分の思いを伝えながら、一緒に遊びを楽しめるように、必要に応じて声かけをする。 | ○園児の思いや願いを聞いたり確認したりしながら一緒に遊ぶ。<br>○園児が不安そうなときは、一緒にしてみたり、違う遊びのところに誘ったりするように声かけをする。 |

園で継続して取り組んでいる遊びを取り入れ、満足感や達成感を味わうことができるようにしています。

児童が主体的に園児と関わりを持つことができるよう、園や小学校の教職員はなるべく見守る配慮をしています。

事前の話合いの様子



子どもたち同士がたくさん関わったり、自信を持って活動したりする交流になるよう協議しています。



年長児の得意な動き・音楽を使った準備運動

**～事前・事後の話合いを通して～**

○園児にとってどんなことがつまずきにつながるかなど、発達や幼児期の学びについて保育者から学んだ。
○ねらいや内容を十分に検討したことにより、子どもたちが主体的に活動することができた。
○保育者が全体の場で話すと、園児は安心した表情になった。保育者と小学校教員の役割分担に工夫が必要だと分かった。

### ◇教職員の相互理解

保育参加（参観）や授業参加（参観）、合同研修会等を行い、子どもの発達や学びの連続性について協議することを通して、教職員の相互理解を深めています。各小学校区で地域の実態や子どもの興味・関心を生かした実践が展開されています。

#### ○遊びと学びのつながりを考える（関金小学校区）



年長児や１年生の姿から、園児の遊びの中での気付きや、遊びと学習活動のつながりについて考えています。



保育参加を通して、保育者の声かけや個に応じた指導など、園と小学校の指導方法の共通点や相違点に気付いたり、円滑な接続のための方策等を考えたりしています。



#### ○全教職員の連携（成徳小学校区・上灘小学校区）

中学校区の園と小学校の教職員ができるだけ参加できるように、研修会の時間を午睡の時間とするなど工夫して開催。担当の年齢や学年で、どのような連携ができるのかを考える機会としています。



・小学校、保育園・認定こども園のカリキュラムについて、互いに理解を深め、連携を充実していくことが大切だと感じた。
・年長児だけではなく、０歳からのすべての園児を対象にした交流を実施したい。学校周辺を散歩するなど、できることから行っていきたい。

～参加者の感想より～

#### ○気軽に相談できる教職員の関係づくり（社小学校区・灘手小学校区）



毎月の園長・校長の情報交換会を「社カフェ」と名付け実施。会を重ねるごとに仲間意識が高まっています。カフェでおしゃべりするように、それぞれの取組について気軽に聞き合うことのできる関係になっています。

保育園の調理員さんに作り方を教えてもらいながら調理をし、小学校での栽培活動等を知る機会になりました。
また、職員同士が仲良くなるきっかけにもなりました。

～参加者の感想より～



小学校で栽培した野菜を使ったおやつ作り

## ○校区の園児がつながり、友達や遊びが広がる（西郷小学校区）



近隣園の就学前の５歳児を対象として交流を実施。普段は接する機会が少ない子ども同士が触れ合い、友達の輪が広がることにより、小学校入学への期待が高まります。



## ○自尊感情を高める（小鴨小学校区）



保育者が小学校１年生に読み聞かせをします。就学した子どもたちに励ましの声をかけたり、成長した姿を認めたりして、自尊感情を高めることをねらっています。

読み聞かせという活動を通して、人とのつながりを大切にし、自分も人も大切にできる子どもを育むことをめざしています。



## ○園・学校・家庭が連携して１５歳までの育ちを支える（河北小学校区）

保育園、認定こども園、小学校、中学校が同日に「ノーメディアデー」を設定。発達段階に合わせて、メディアとの関わり方などについて保護者に知らせていきました。基本的生活習慣の確立と合わせ、継続した取組になるよう連携して進めています。

## ○園での育ちと学びを生かす（上小鴨小学校区）

園の研究会に小学校教員が参加し、一緒に研修しました。保育映像で遊びの様子を振り返り、子どもの興味・関心をとらえること、つぶやきや行動から読み取れる思いや願いに気付き、園や小学校の活動に生かしていくことを協議しています。

## ○互いの専門性を生かして子どもを育む（北谷小学校区）

小学校の養護教諭や司書教諭が出前授業を行うことを通して園児の就学への期待が高まりました。また、保育士の読み聞かせの技を学ぶなど、互いの専門性や取組を生かした教育・保育の充実を図っています。

## ○地域と共に子どもを育む（高城小学校区）

毎月、校区の児童センターを含めて連絡会を行っています。地域全体でめざす子どもの姿を共有し、様々な立場で子どもを育てていくことができます。連絡会での丁寧な情報交換は、就学に向けての引継ぎにもつながっています。



**倉吉のめざす子どもの姿をふまえて**

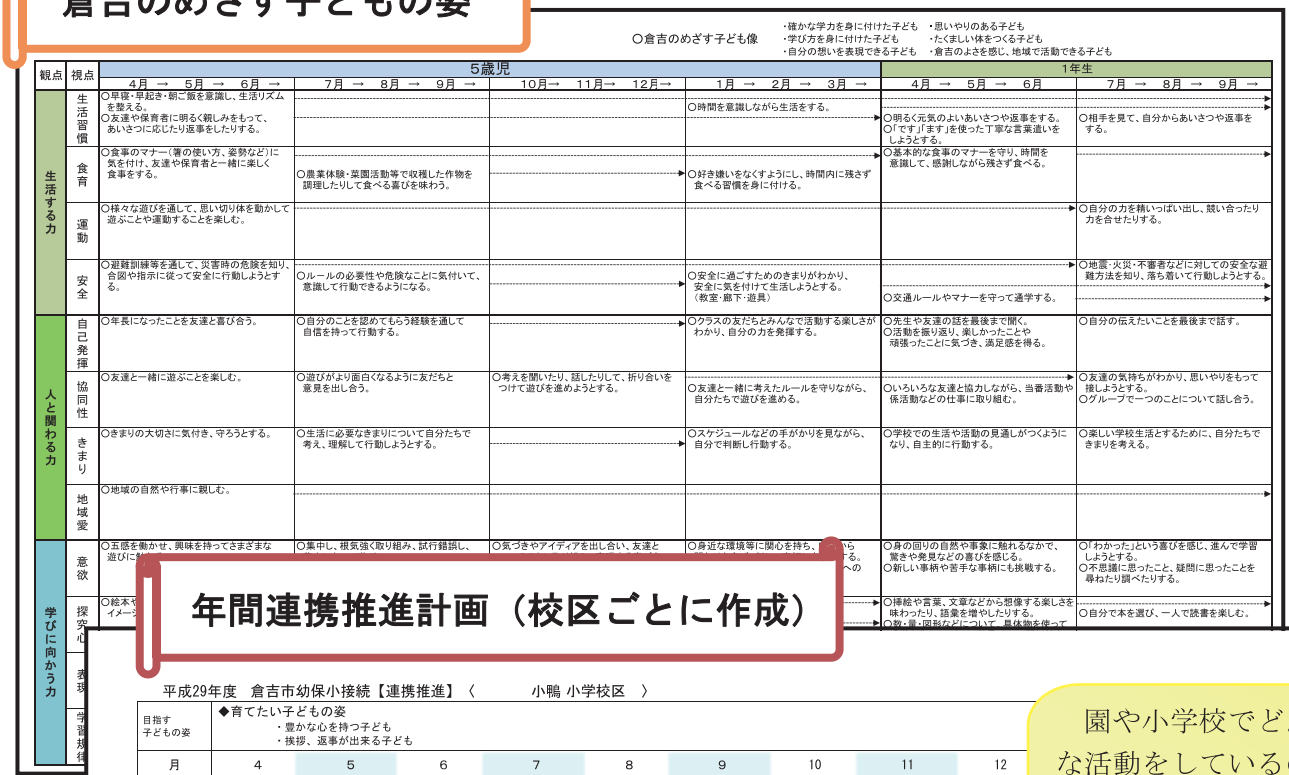
**各校区の取組が充実**



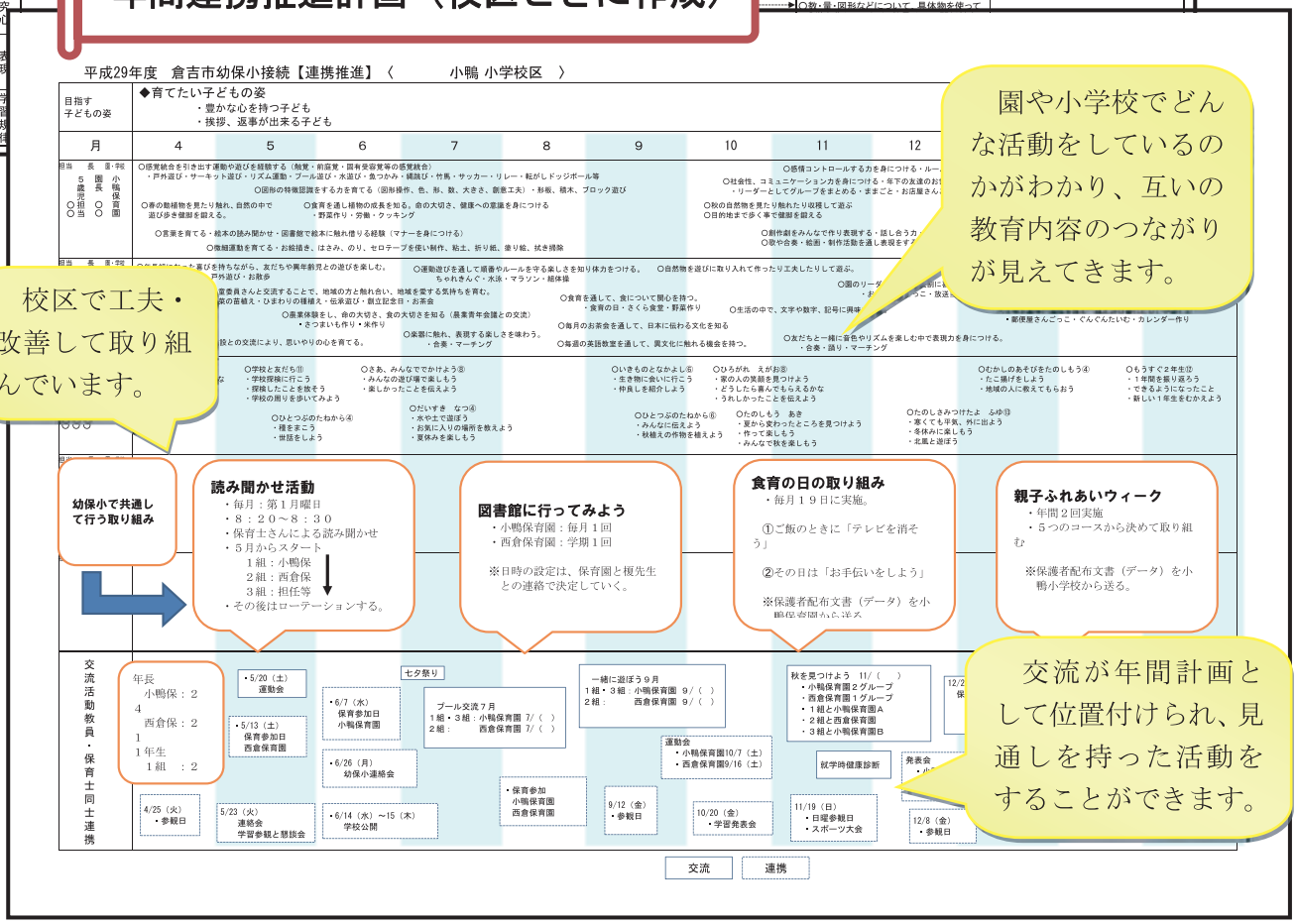
# 教　育　を　つ　な　ぐ

幼児期の教育と小学校教育の連続性・一貫性を保障する保育・教育の在り方を考えるために、子どもの成長する姿を「**生活する力**」「**人と関わる力**」「**学びに向かう力**」のキーワードでつなぎ、５歳児と１年生の前期の接続期に関して倉吉市としての「**めざす子どもの姿**」を作成しました。

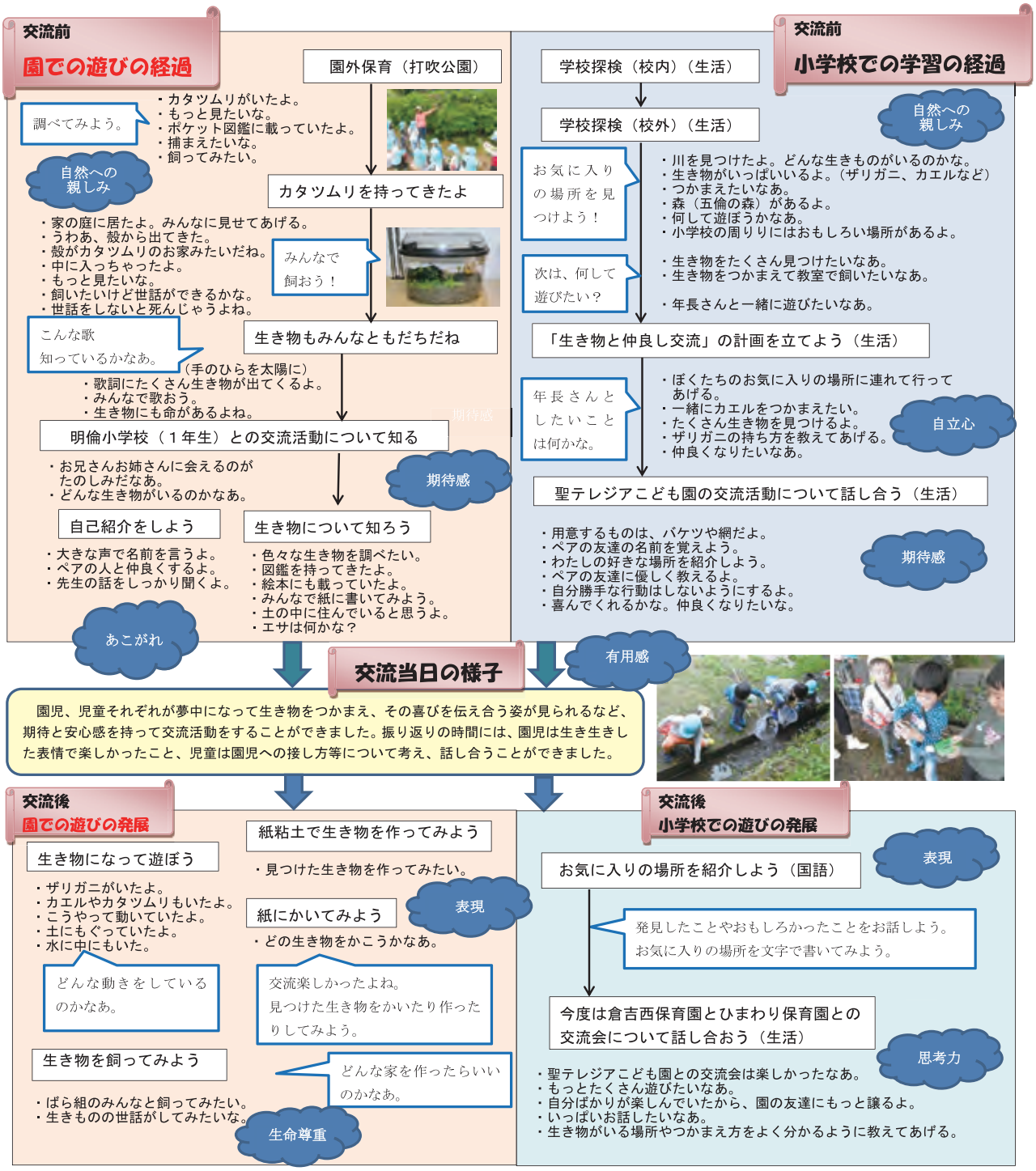
## 倉吉のめざす子どもの姿




## 年間連携推進計画（校区ごとに作成）



## 学びのつながりを意識した実践（明倫小学校区）




【担当者より】

倉吉市は、倉吉市幼児教育研究会を核として、幼児教育から小学校教育への接続期の教育の在り方について協議し、取組を進めてきました。この２年間で、園や小学校の教職員が、子どもの姿について語り合うなど、特に校区ごとの連携や交流活動が充実・発展しました。

今後は、互いの教育内容の理解やつながりのある教育課程編成等の取組により、学びの連続性を意識したそれぞれの保育・教育の質の向上をめざしていきたいと考えています。



## 〈実践２〉 日　野　町

日野町では、全国に先駆けて平成１７年に、黒坂小学校と黒坂保育所（当時）とが連携して「学びの基礎を育むプログラム」を策定し、保小連携の礎がつくられました。これは、小学校、保育所それぞれの教職員が、当時の１年生の課題解決のためには、保育所と小学校との連携の充実が必要との強い思いから始まった取組です。

その後、平成２３年４月には、幼児期の育ちを小学校へより滑らかにつなぐための体制づくりとして、保育所の所管を町長部局（担当：健康福祉課）から教育委員会部局へ移管しました。それと時期を合わせて、「日野町子ども１５年プラン」を制定し、一人一人の子どもの育ちを大切にしながら、０歳から１５歳までの一貫した教育（保小中一貫教育）に取り組んできました。

### 組　織　を　つ　な　ぐ



**（１）「日野町教育大綱」「日野町教育振興基本計画」への位置付け**

現在、保小連携については、保小中一貫教育の取組の１つとして、「日野町教育大綱」及び「日野町教育振興基本計画」に位置付け、日野町として事業を推進しています。

**「日野町教育大綱」**（抜粋）

**２．次代を担う人づくり**

**～「生きる力」を育む保育、学校教育の推進～**

○人間尊重の精神と生命を大切にする教育の推進

○豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進

・自他を大切にする心　　・日野町に誇りを持ち、日野町を愛する心

・主体的に考え、行動し、他者と協働して解決する力

・高度情報化社会、グローバル化する社会を主体的に生きる力

○保小中一貫教育の推進

・自ら学ぶ力　　・ともに育つ力　　・たくましく生きる力

・小中一貫カリキュラムの検討、実施

○保育士、教員の資質の向上

**「日野町教育振興基本計画」**（抜粋）

**【目標２】次代を担う人づくり　『子ども１５年プラン（第Ⅱ期）』**

**～「生きる力」を育む保育、学校教育の推進【保小中一貫教育】～**

基本的な生活習慣や忍耐力、思いやりや協調性を身につけ、自分や周りの人やふるさとを愛する心を持つ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成に向けて、家庭や地域と連携を深めながら、保小中一貫教育において、確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体づくり、日野町の良さを伝える教育の推進をめざします。

《取組方策２－４　人間尊重の精神と生命を大切にする教育の推進》

《取組方策２－５　豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進》

《取組方策２－６　保小中連携の推進》

《取組方策２－７　保育士、教員の資質の向上》

## （２）日野町学びの基礎を育むプログラム

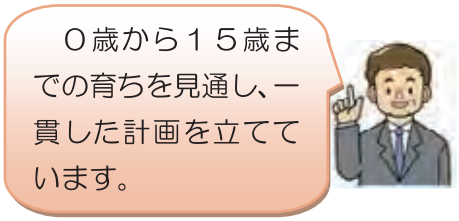
「日野町教育振興基本計画」の《取組方策２－５》には、黒坂小学校と黒坂保育所で策定された「学びの基礎を育むプログラム」を改定した「日野町学びの基礎を育むプログラム」を実践することを掲げており、このプログラムは「日野町保小連携推進計画（保小連携プログラム）」の基盤となっています。

**「日野町学びの基礎を育むプログラム」（抜粋）**

保育所、小学校、中学校と一貫した取組を保護者と連携しながら実践し、学びの基礎となる基本的な生活習慣の定着、コミュニケーション力、自尊感情、セルフコントロール力を育てます。

| | |
|---|---|
| １　基本的な生活習慣の定着 | ・心身ともに健康な生活を送るためのもととなる生活習慣<br>・特に食事、睡眠、整理・整頓、あいさつ・返事を視点とする。 |
| ２　コミュニケーション力 | ・他者の話を聞き、気持ちを理解し、情報を収集したり発信したりする力<br>・特に「聞く、話す、関わる」の３つを視点とする。 |
| ３　自尊感情 | ・自分を否定するのではなく肯定的に認め、自分らしさに自信を持ち、自分を価値あるものとして思えるようになること<br>・特に意欲・自己実現、自己肯定感を視点とする。 |
| ４　セルフコントロール力 | ・自分の感情や欲望をコントロールする力<br>・特に自己抑制、根気強さを視点とする。 |

## （３）日野町保小中一貫教育推進委員会での取組




前掲した保小中一貫教育を推進していくために、保育所、学校、教育委員会事務局で、保小中一貫教育推進委員会を組織しています。そこに、５つの部会と４つ程度の連絡会を設け、事業を推進しています。

保小連携については、保小・小小連携推進部会が中心となって事業を推進しており、平成２９年度には、「日野町保小連携推進計画（保小連携プログラム）」を、部会で協議を重ね改定しました。

**平成２９年度　保小・小小連携推進部会活動計画**

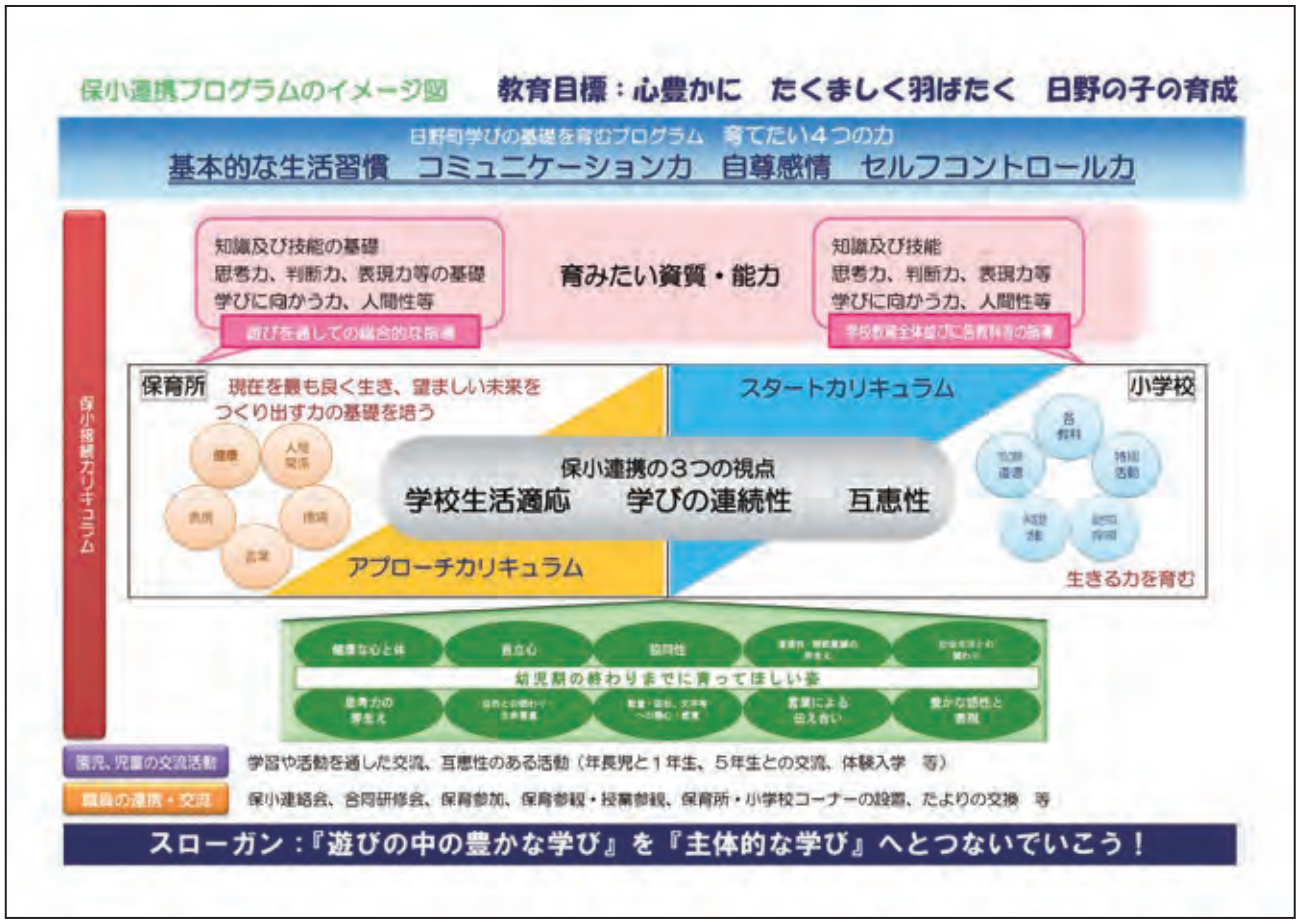
１　本年度の取組

| | 取組内容 | 教育振興基本計画<br>取組方策・内容 | 年度末到達目標（値） |
|---|---|---|---|
| (1) | 保小交流会、保小連絡会、保育参加の実施と改善 | ２－６（４） | 目的を明確にし、年３回（各小３回、保６回）実施 |
| (2) | 小小連携事業（交流会等）の実施及び改善 | ２－６（５） | 各校の実態を考慮して内容を検討し、各学年で実施 |
| (3) | 小小合同授業研究会の実施 | ２－７<br>（１）（２） | 年２回実施<br>9/29、10/20 |
| (4) | 保小接続カリキュラムの活用と見直し | ２－６（４） | 実践記録を追加するなど改訂版の発行<br>（２月末） |

# 人　を　つ　な　ぐ

## （１）日野町保小連携推進計画（保小連携プログラム）

日野町保小連携推進計画には、**「保小接続カリキュラム」「園児、児童の交流活動」「職員の連携・交流」**の３つを連携の方法として示しました。




## （２）園児、児童の交流活動

交流活動により、園児にとっては、小学校生活を知り、期待を寄せたり自分の近い将来を見通したりできるようになることが期待されます。一方、児童にとっては、園児に伝わるような言葉使いやかかわりを工夫するなどの活動を通して、思いやりの心を育んだり、自分の成長に気付いたりすることが期待されます。

園児と児童が一緒に活動し、双方にとって意義のある交流活動となるようにするとともに、継続的に取り組み、交流が深まるようにすることが大切です。そのために、相互のねらいに対応した活動となるよう指導計画を作成したり、教材研究を深めたりするなど、事前事後の打合せの充実を図っています。



また、園児、児童の長期的な発達の見通しや指導については、担当者、担当学年だけではなく、全職員で共通理解を図りながら取り組んでいます。

《年長児と小学校５年生の交流活動》

| | |
|---|---|
| 実施時期 | ２学期 |
| ねらい | 年長児：５年生と交流する中で、小学校生活の雰囲気を知り、５年生への憧れや就学への期待感を高める。<br>５年生：年長児と交流することにより、相手意識をもって異年齢の友だちと接し親しくなる。年少者とふれあうよさ・大切さに気づき、学校生活・家庭生活に生かす。 |
| 活動内容 | ・学習成果の発表　・ゲーム |
| 評　価 | 年長児：ペアになった５年生との会話や活動を楽しみ、小学生への親しみや憧れを感じ、就学への期待感を高めている。<br>５年生：年長児の思いを聞きながら相手意識を持ってかかわり、安全に、お互い心地よい活動になるように交流している。 |
| 保育課程への位置づけ | 小学校生活への希望を持ち、卒園、入学に向けての意欲を高める。 |
| 教育課程への位置づけ | 学級活動「保育園児と交流しよう」（１）－ウ |
| 接続カリキュラムとの関連 | 年長児：活動への参加（学びの連続性・互恵性） |
| 職員の連携・交流との関連 | 小学校、保育所がそれぞれの交流のねらいに即して、普段の生活の様子を情報交換し合い、お互いのつながりが深まるように事前の打合せを行う。 |



### （３）職員の連携・交流

保育士と教職員が連携、交流を図り、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共有、園児、児童の実態、教育内容や指導方法について相互理解を深めることにより、円滑な接続に向けた指導方法等の改善ができます。また、義務教育修了までの長期的な視点から、園児、児童の発達の段階に応じてそれぞれの機関が果たすべき役割について再認識できます。

園児、児童の発達や学びの連続性を確保するためには、相互の教育内容や指導方法の違いと共通点、園児や児童の実態について理解を深めることが必要です。そのために、保育士と教職員の意見交換、合同の研究会や研修会、保育参観や授業参観、保育参加等、相互理解の機会を設けています。

**顔の見える関係づくり**



ひのっこ保育所コーナー

～各所、校に保小連携の掲示スペース～

**保育参加**



小学校教職員の保育所訪問研修

～保育所での活動と幼児理解～

キーパーソンを中心とした連携から、全教職員がつながる連携へ発展しています。



# 教　育　を　つ　な　ぐ

## （1）保小接続カリキュラム（アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム）

保小接続カリキュラムを作成することにより、幼児期の教育と小学校教育とのつながりが明確になります。具体的な活動として、年長児の時期には、小学校への入学を念頭に、話を聞いたり、行動したり、きまりを守ったりすることができるように指導を重ねるとともに、保育所の生活の中で協同して遊ぶ経験を多く取り入れるようにしています。一方、小学校では、保育所で遊びや生活を通じて学んだことを生かす活動を仕組んでいます。また、低学年では具体的な体験を重視した活動を取り入れたり、生活科を中心とした合科的な指導を行ったりしています。

さらに、保小接続カリキュラムを踏まえ、幼児期の教育と小学校教育とが円滑に接続できるよう、保育所、小学校において、**保育課程・教育課程全体の編成や指導方法を工夫**しています。

## （2）保小連携の３つの視点

「遊びの中の豊かな学び」を「主体的な学び」へとつなぐために、３つの視点を設定し、保小接続カリキュラムを作成しています。

○**学校生活適応**…生活習慣・運動・健康・体力、活動の広がりへ
○**学びの連続性**…遊びの中の豊かな学びから主体的な学び、確かな学力へ
○**互恵性**…人との関わり、協同性の育ち、豊かな人間性の育成

## （3）アプローチカリキュラム

就学前のこの時期に大切なのは、幼児期に育みたい資質・能力と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえ、一人一人にその力が育っているかを確かめながら、学校教育へと円滑につないでいくことです。

**＜アプローチカリキュラム実施の留意点＞**

① 小学校で学習することを前倒しで実施するのではなく、「やりたい」「伝えたい」という気持ちから、小学校で学習するような内容について「知りたい」「使いたい」という気持ちが高まるように指導を工夫する。
② 「遊びきる」活動を充実させることを通して、セルフコントロール力を養う。
③ 内容、工夫や配慮及び実践時の園児の様子について、保護者に伝える。

保育所の学びが小学校教育の各教科の内容へゆるやかにつながり、誰が担任しても学習展開できる持続可能な内容が記されています。



## （4）スタートカリキュラム

入学当初のこの時期に大切なことは、遊びの中から獲得した豊かな学びを小学校での主体的な学びへと連続させることです。

**＜スタートカリキュラム実施の留意点＞**

① 保育所での経験や学びを生かして、楽しさや喜びを味わうことができるように計画・実践して、次第に学校生活や学習に適応していくように工夫する。
② 指導の効果を高めるために、合科的・関連的な指導ができるように編成する。
③ 体験的な活動を多く取り入れ、環境や経験から学ぶひのっこ保育所での学び方を生かす。
④ 予定、工夫や配慮及び実践時の児童の様子について、保護者に伝える。

## 保小接続カリキュラムの具体例






これらのカリキュラムは、日野町ＨＰの保小中一貫教育のページに掲載しています。

http://www.town.hino.tottori.jp/2420.htm

## 保小連携推進計画にもとづく実践



**『遊びの中の豊かな学び』から『主体的な学び』へ**

【担当者より】

「学びの基礎を育むプログラム」は、保小連携の充実こそが、一人一人の子どものよさを伸ばし、確実に力をつけていくための土台であるという、平成１７年当時の現場の教職員の強い思いを出発点として作成されました。その後、町として組織を立ち上げ、推進計画のもと、軌道に乗った推進体制が確立しました。

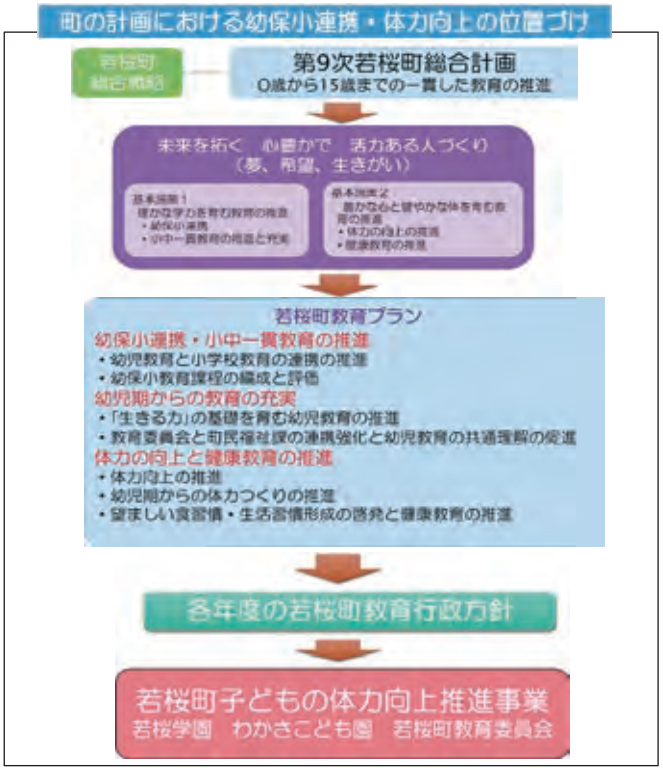
そして、この推進体制を息づいたものにしていくのが、一人一人の教職員です。所長、校長のリーダーシップのもと、子どもの確かな成長に資する実践を積み上げていきたいと思います。



# 〈実践３〉　若　桜　町

０歳から１５歳までの一貫した教育の推進を図るため、幼保小連携について町の各計画に位置付けるとともに、連携組織（連絡会、一貫教育協議会）を中心に体力向上に重点をおいて幼保小連携の取組を展開しています。

## 組　織　を　つ　な　ぐ

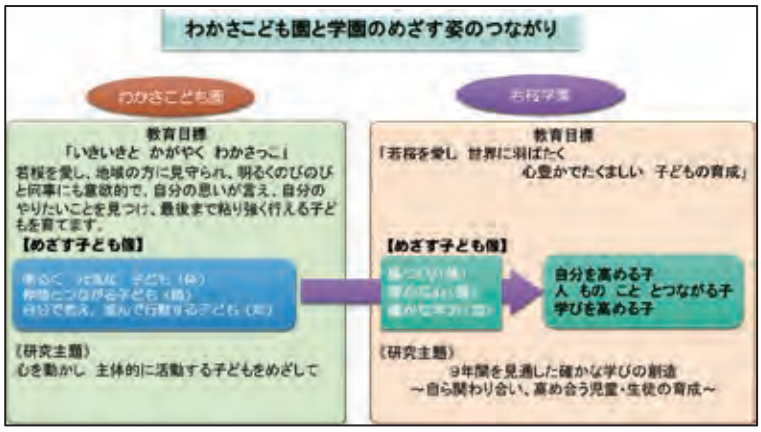




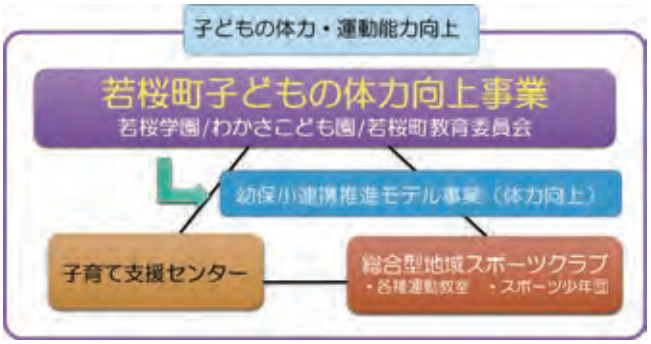


町の総合戦略・総合計画に基づき、体力向上に重点をおいた取組を町全体で展開しています。






教育目標や「めざす子ども像」についても共通理解を図り、つながりを持たせて、同じ方向で実践できるようにしています。

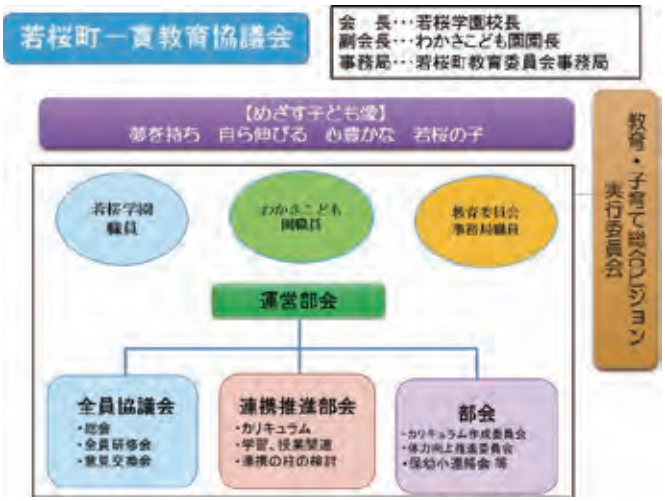


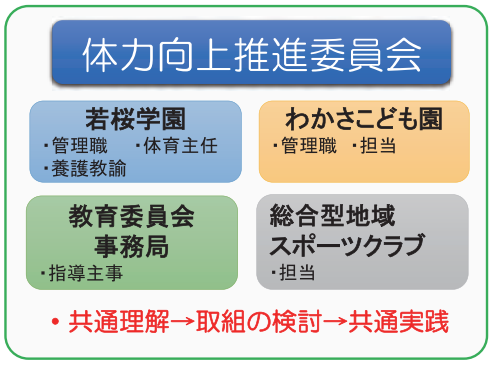

「若桜町子どもの体力向上事業」を中心に、総合型地域スポーツクラブや子育て支援センター等と連携して、幼児期からの体力向上の取組を推進しています。



# 人　を　つ　な　ぐ

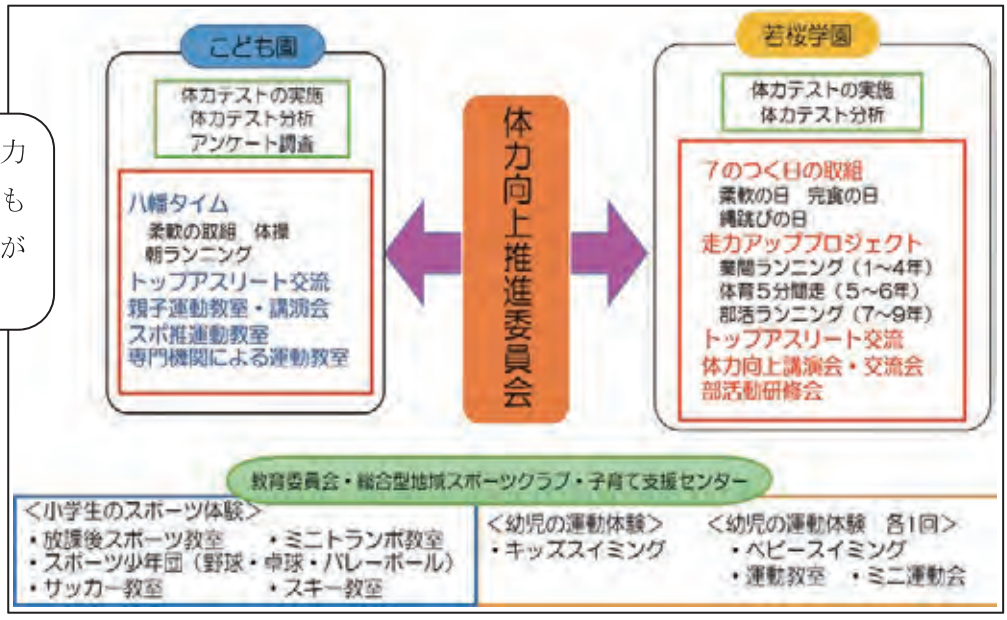
各組織で共通理解を図り、連携した取組を進めています。また、一貫教育協議会において「めざす子ども像」を設定し、その実現に向けて計画を立て、実践しています。




身に付けさせたい力の明確化を図り、こども園・学園・教育委員会が共通実践しています。










小学校教諭の保育体験研修

一貫教育協議会全員研修会



年長児と１年生の交流







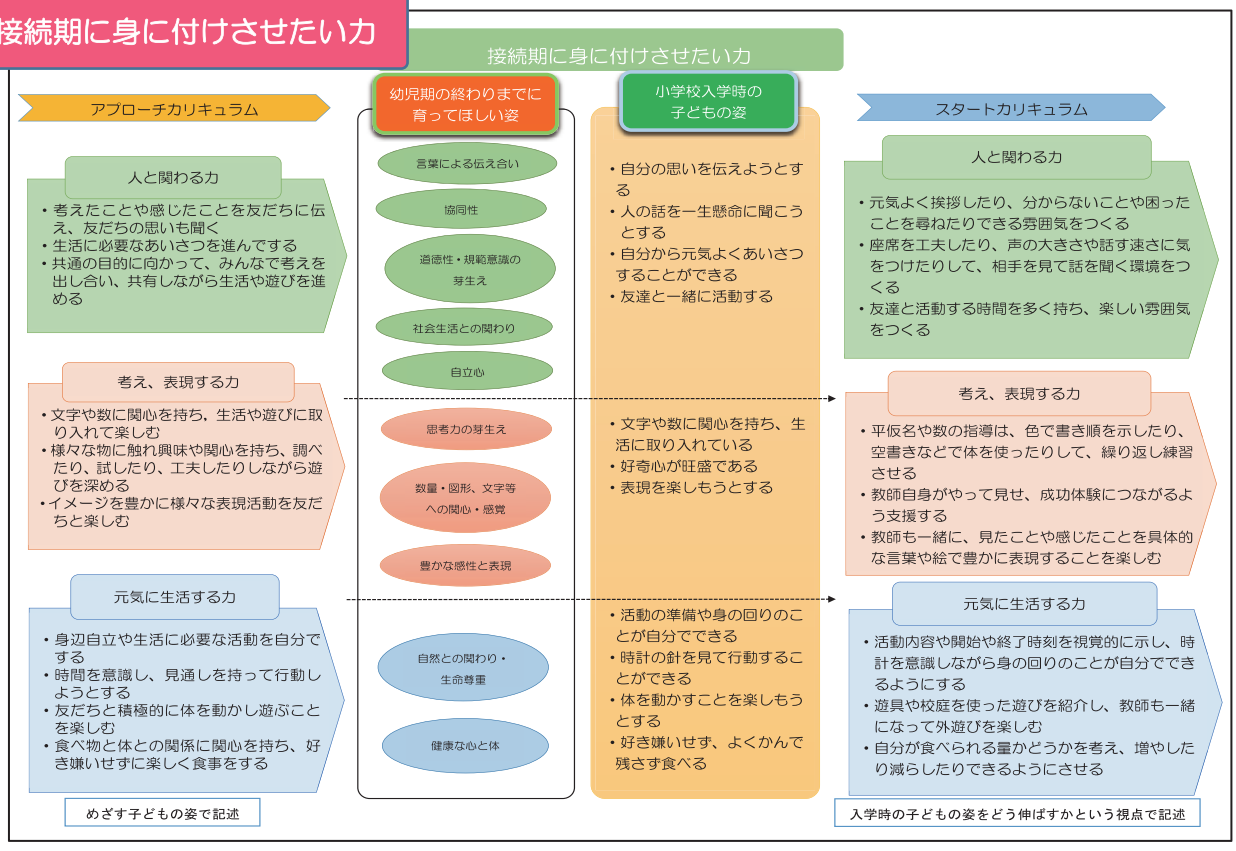


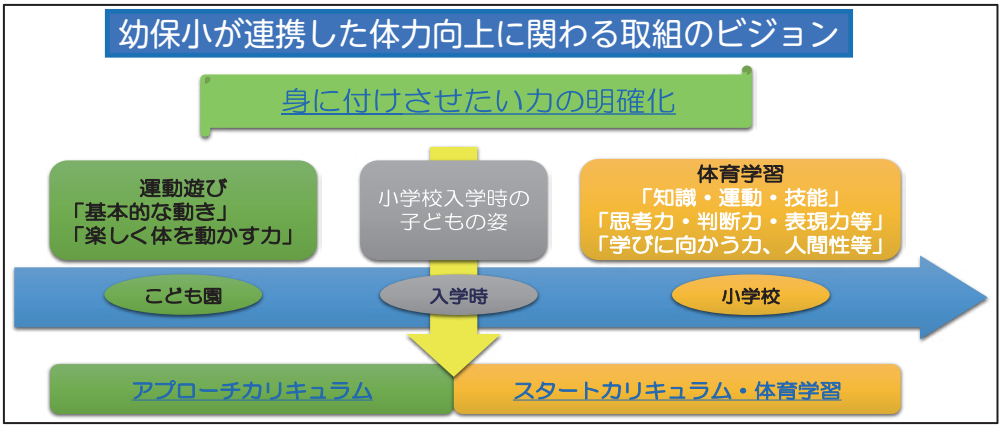
学園、こども園共通の柔軟の取組

# 教　育　を　つ　な　ぐ

接続期における身に付けさせたい力を明確にするとともに、その力がどの場面で育てられるのかを年間指導計画等に示しています。

## 接続期に身に付けさせたい力



## 接続期に身に付けさせたい力【体力向上】

### 接続期に身に付けさせたい力（体力向上）

**アプローチカリキュラム**

運動遊びで身に付けさせたい（経験させたい）力

【基本的な動き】《いろいろな運動遊びを経験する》

〔知識・運動・技能〕

① バランスをとる
- バランスをとりながら回ったり立ったり座ったりする
- 素早く立ったり座ったりする

② 体を移動する
- いろいろな方向に歩いたり走ったり、跳んだりする
- 少し長い距離を走る

③ 用具を使って遊ぶ
- 縄跳びで連続跳びをする
- 投げ上げたボールを取る
- しっかりとボールを握り、遠くに向かって投げる
- ボールを蹴りながら走る

④ 力試し
- 人を押す、引く等で力を出したり緩めたりする

⑤ 固定遊具を使って遊ぶ
- バランスをとりながら平均台を渡る
- のぼり棒を上ったり下りたりする

⑥ マットで遊ぶ
- マットで回ったり、転がったりする

⑦ 鉄棒を使って遊ぶ
- 鉄棒に跳び上がったり跳び下りたり、ぶら下がったりする
- 手や腹で支持したり、揺れたりする

⑧ 跳び箱を使って遊ぶ
- 跳び箱に乗ったり、飛び降りたり、またぎ越したりする

⑨ いろいろな方向に走る
- 後ろに走ったり、ジグザグに走ったりする

⑩ 様々にジャンプする
- ケンパー跳び遊びをする
- 箱やゴムの上をいろいろな方向にジャンプする

⑪ 水の中で遊ぶ
- 水の中を移動したり、潜ったり浮いたりする

⑫ 易しいゲーム
- 簡単なサッカー遊びや陣を取ったりするゲームをする

⑬ 鬼ごっこ
- 鬼遊びで、走ったり追いかけたりする

⑭ いろいろなものになりきって動く
- 忍者などいろいろなものになりきって動く

⑮ 軽快なリズムに乗って踊る
- リズムに合わせて踊る

⑯ 自然との関わりの深い遊び
- 自然の中での遊びを楽しむ（川遊び、雪遊び、スキー等）

【楽しく体を動かす】

〔思考力・判断力・表現力等〕〔学びに向かう力、人間力等〕

⑰ 体を動かして遊ぶことが好き
⑱ 決まりを守って遊ぶ
⑲ 友達と仲良く遊ぶ
⑳ 進んで運動遊びを楽しむ
㉑ いろいろな遊び方を考えて遊ぶ

**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**

- 言葉による伝え合い
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 自立心
- 思考力の芽生え
- 数量・図形、文字等への関心・感覚
- 豊かな感性と表現
- 自然との関わり・生命尊重
- 健康な心と体

**小学校入学時の子どもの姿**

【基本的な動きの獲得】
- 多様な動きを通して、体のバランスをとる動き体を移動する動き用具を操作する動きがより滑らかにできる。

【楽しく体を動かす】
- 自発的に体を動かす遊びを楽しむ
- 友達と一緒に遊び方やルールを考え、決まりを守って遊ぶ

**スタートカリキュラム・体育学習**

体育学習で身に付けたい力

【知識・運動・技能】

〔体つくりの運動遊び〕
- バランスをとる運動遊び
  回る　寝転ぶ　起きる　座る　立つ
- 体を移動する運動遊び
  這う　歩く　走る　跳ぶ　はねる　一定の早さでのかけ足
- 用具を操作する運動遊び
  つかむ　持つ　降ろす　回す　転がす　くぐる　運ぶ
  投げる　捕る　跳ぶ　用具に乗る
- 力試しの運動遊び
  人を押す　引く　運ぶ　支える

〔機械・器具を使っての運動遊び〕
- 固定遊具を使った運動遊び
  登り下り　懸垂移行　渡り歩き
- マットを使った運動遊び
  いろいろな方向への転がり　手で支える体の保持・回転
- 鉄棒を使った運動遊び
  支持してのゆれ　上がり下り　ぶら下がり　易しい回転
- 跳び箱を使った運動遊び
  跳び乗り　跳び下り　またぎ乗り　またぎ降り

〔走・跳の運動遊び〕
- 走の運動遊び
  いろいろな方向に走る　低い障害物を越える
- 跳の運動遊び
  前方や上方に跳ぶ　連続して跳ぶ

〔水遊び〕
- 水の中を移動する運動遊び
  いろいろな姿勢で歩く　自由に方向や速さを変えて走る
- もぐる・浮く運動遊び
  息を止める　吐く　もぐる　浮く

〔ゲーム〕
- ボールゲーム
  簡単なボール操作と攻め、守りで易しいゲーム
- 鬼遊び
  逃げる　追いかける　陣を取り合う

〔表現リズム遊び〕
- 表現遊び
  身近な題材の特徴をとらえ全身で踊る
- リズム遊び
  軽快なリズムに乗って踊る

【思考力・判断力・表現力等】
- 運動遊びの仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える

【学びに向かう力、人間性等】
- 運動遊びに進んで取り組み、きまりを守って仲良く安全に気をつけて運動する。

## 接続期に身に付けさせたい力【体力向上】と体育科年計とのつながり

### アプローチカリキュラムで身に付けさせたい力とスタート時の第１学年体育科年間指導計画とのつながり

若桜町教育委員会

**アプローチカリキュラム**

基本的な動き

⑦鉄棒を使って遊ぶ
・鉄棒に跳び上がったり跳び下りたり、ぶら下がったりする

楽しく体を動かす

⑰体を動かして遊ぶことがすき
⑱決まりを守って遊ぶ
⑲友だちと仲良く遊ぶ
⑳進んで運動遊びを楽しむ
㉑いろいろな遊び方を考えて遊ぶ

**平成29年度　第1学年　体育科　年間指導計画（4月）**

| 月 | 単元・題名・時間数 | ねらい | 学習活動・内容 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能・知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 4・5 | **（機械・器具を使っての運動遊び）てつぼうあそび④** | ○友だちと仲良く鉄棒遊びをする。 | （オリエンテーション）<br>①学習のねらいと進め方を知る。<br>②器具・用具等の使い方について知る。<br>③きまり、学習の場、安全面について知る。<br>④「やってみよう」を行う。<br>⑤学習のまとめの仕方を知る。<br>（2時）<br>①「やってみよう」を行う。<br>②活動①の鉄棒遊びを行う。<br>③できるようになった鉄棒遊びを友達と見せ合う。<br>④本時のまとめをする。<br>（3・4時）<br>①活動②の鉄棒遊びを行う。<br>②できるようになった鉄棒遊びを友達と見せ合う。<br>③本時（単元）のまとめをする。 | ○鉄棒で、意欲的に遊ぼうとする。<br>○順番を守って遊ぶ。<br>○遊具や遊具の周りの安全を確かめて<br>○自分<br>て遊ぶ | ○鉄棒での遊び方がわかり、遊び方の工夫ができる。 | ○鉄棒を使って、手や腹、膝で支持したり、ぶら下がったり、揺れたり、跳び上がりや跳び下りをしたり、易しい回転な |

体育科第１学年の年間指導計画とのつながりを踏まえて接続期に身に付けさせたい力（体力向上）を設定しています。



## アプローチカリキュラムへの位置付け

９月→１２月　　接続期　（５才児後半～小学１年生）　　１月→３月

| | | |
|---|---|---|
| 人と関わる力 | ・自分の考えと相手の考えの違いに気付き、折り合いをつけて遊びを進めようとする。<br>・友だちと言葉のやりとりを十分にし、思いを伝え合う。<br>・体験したり、感じたりした事を様々な言葉で表現することを楽しむ。<br>・友だちとの関わりの中で相手の気持ちに気付き、受け入れる。<br>**・遊びの進め方を友だちと話し合い、協力したり決まりを守ったりして遊びに取り組む。** | ・自分の感じた事や考えた事を友だちに分かるように伝えるとともに友だちの話も聞き、受け止める。<br>・言葉で伝え合う喜びや仲間と気持ちがつながり合う喜びを味わう。<br>・考えた事や感じた事を相手に分かるように話す。また、相手の話の内容を理し注意して聞く。<br>・失敗してもあきらめないで遊びを広げたり深めたりする。<br>・クラスやグループの中で役割を持ち目的を持って遊びや生活を進める。<br>**・自分たちで決めたルールに従って、友だちと楽しむ。** |
| 考え、表現する力 | ・遊びに必要な物を適切な材料を考えて使い、工夫して作ったり飾ったりすることを楽しむ。<br>・自然物を使って様々な遊びに取り組み、その感触や特徴などに気付いたり、調べたりする。<br>・絵本や物語などに親しみ興味を持って聞き、想像を広げて楽しむ。<br>**・いろいろな運動遊びに進んで取り組む。** | ・材料や用具を目的に合わせて選び、のびのびと表現し作品を大切に扱うと友だちの表現にも関心を持つ。<br>・感じた事、想像したこと、体験した事等を言葉や動き、作品を通して表現<br>・思った事や感じた事を絵や言葉などで表現する。<br>・色々な材料を自分のイメージに合わせて見立て、工夫して使う。<br>・身近な環境に自ら関わり考えたり、試したり工夫したりして遊ぶ。<br>・日常生活で数量、図形、文字、時間などに関心を持ち生活や遊びの中で使楽しむ。<br>**・友だちと運動遊びの行い方がより楽しくなるよう工夫する。** |
| 元気に生活する力 | **・戸外で、進んで体を動かして遊ぶことを楽しむ。**<br>**・友だちと積極的に体を動かす遊びに取り組み、競い合ったりルールを作ってみんなで遊んだりすることを楽しむ。**<br>**・自分なりの目当てを持ち、全身を使って多様な運動遊びを楽しむ。**<br>・園生活の流れを予測し、見通しを持って行動しようとする。<br>**・ルールの必要性や危険なことに気付いて、意識して行動しようとする。**<br>・食べ物と健康の関係を知り、進んで食べようとする。<br>・栽培物を収穫したり調理して食べる喜びを味わう。 | **・寒さに負けず十分に体を動かし、色々な運動遊びに取り組む。**<br>**・用具の特長を生かして色々な運動遊びを楽しむ。**<br>**・危険な遊び方や場所に気付き、自分で判断して安全に行動しようとする。**<br>・時間を意識しながら生活に見通しを持ち、場や状況に応じた行動をとる。<br>・小学校交流などを通して就学への期待を膨らませ、意欲的に生活をする。<br>・生活に必要な挨拶や正しい言葉使いを進んでしようとする。<br>・食材や食事を用意してくれる人へ感謝し、命の大切さに気付く。<br>・給食時間内に残さず食べる。 |

重点指導項目等を年間指導計画に位置付け、他の活動との関連を図るなど、今ある指導計画を生かしたカリキュラム・マネジメントを行っています。



## 年間指導計画への位置付け

わかさこども園

H29 5歳児年間指導計画　　（太字…体力向上に関わるもの）

| 期 | 1期（4～5月） | 2期（6～8月） | 3期（9～12月） | 4期（1～3月） |
|---|---|---|---|---|
| 目標 | 年長うれしいな<br>進級の喜びと、年長としての自覚を持つ | 元気いっぱい頑張る<br>自分の目当てを持ち、他名スター医、挑戦したりする | みんなと遊びを広げよう<br>共通の目的に向かって友だちと力や心を合わせていく | 自信を持って<br>自分の力を発揮し、主体的に自分達の遊びや生活を進める |
| 幼児の経験する内容の道筋 | 新しい生活に慣れる<br>・身の回りの物の始末をする<br>・園生活の流れを知る<br>まつり太鼓<br>**好きな遊びを見つけて遊ぶ⑰⑳**<br>**・戸外遊び（固定遊具）①②⑦⑤**<br>・コーナー遊び（描く・作る）<br>**・運動遊びを楽しむ⑨⑭⑬**<br>春の自然を感じる<br>・お花見をする<br>・散歩に出かける<br>・草花で遊ぶ<br>はたけ作り<br>じゃがいも植え<br>夏野菜・さつまいも苗植え | 暑さに負けず元気に過ごそう<br>・健康習慣を身につける<br>夕涼み会⑰⑳<br>・必要なものの準備をする<br>・みんなで太鼓や**踊りをする⑮**<br>**友達と一緒に遊ぶ⑰⑱⑲⑳**<br>**・プール・水遊び⑪**<br>**・室内外での集団遊び⑫⑬**<br>夏の自然や動植物に親しみを持つ<br>・砂・泥・水でダイナミックに遊ぶ<br>・生き物に興味や関心を持ち、調べたりする<br>**・川遊びをする（泳ぐ）⑪⑰⑱⑳**<br>田植え<br>たまねぎ・じゃがいも<br>夏野菜収穫 | **運動遊びをしよう**<br>**①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑭⑯⑲㉑**<br>**・戸外で体を動かして、いろいろなことにチャレンジする**<br>**・みんなで協力して必要なものの準備や競技の練習をする**<br>運動会<br>遊びを友達と一緒に工夫し進める<br>・ごっこ遊びや**ルールのある遊びを楽しむ⑫⑯⑱㉑**<br>・異年齢児との関わりを持つ<br>**・思いや感じたことを様々な方法で表現する⑦㉑**<br>秋を楽しもう<br>・自然物を使って遊ぶ。操作する。描く。表現する。<br>稲刈り<br>収穫祭<br>・米・野菜でクッキングを楽しむ<br>秋野菜植え・さつまいも収穫<br>タマネギ植え<br>秋野菜の収穫 | 寒さに負けず元気に過ごそう<br>・手洗い・うがいの励行　・生活リズムの確立<br>お正月遊びをしよう<br>（カルタ・こま・たこなど）<br>発表会をしよう<br>・共通の目的に向かって取り組む<br>・自信を持って自分の役割を果たす<br>・必要なものを自分たちで準備する<br>・友だちと心を合わせて表現することを楽しむ<br>**冬の遊びを楽しむ⑲⑳㉑**<br>**・雪遊び　そり遠足など⑮**<br>春の訪れを感じる<br>畑の冬支度をする<br>楽しかったこども園<br>・卒園の思い出帳作りをする<br>・お別れ会　・体験入学 |
| 運動教室 | **ボディーイメージをつける①**<br>**基本的な動き①②**<br>**（早く動く ゆっくり動く 前後左右などの動き）**<br>**⑰⑳** | **走力向上②③**<br>**器具を使った運動（鉄棒…逆さ感覚）⑦**<br>**投げる力　跳ぶ力③⑪**<br>**⑰⑲⑳** | **リズムで跳ぶ②⑪**<br>**手と足がバラバラの動き→縄跳び③**<br>**マット運動…倒立（手で支える・逆さになる）⑥**<br>**⑱⑲⑳** | **跳び箱…支えて跳ぶ⑧**<br>**総合的な運動①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑭**<br>**⑯⑳㉑** |
| 運動教室 | | | **トップアスリート交流**<br>**・サッカー遊び⑫⑱⑲㉑**<br>**投げ投げランドで遊ぼう⑪⑲⑳**<br>**・遠くまで投げる③** | |
| 水泳教室 | **水慣れ・水遊び・輪くぐり⑪⑰⑳** | **顔つけ・浮く・もぐる⑪⑰⑱⑳** | **けのび・バタ足⑪⑱⑳** | **ール⑪⑳** |
| 八幡タイム | **八幡タイム（ランニング・体操・** | | | |
| 環境構成及び保育者の援助 | ・年長になった喜びや実感がもてるように、子どもたちと共に生活の場を作っていくことを大切にしていく<br>・一人一人の心の動きや活動を見守り、安心して生活できるようにする<br>・自分たちで進んで自由に遊べるコーナーを設定し、時間も十分にとる<br>・自分の思いや感じたことを出し合える場を設定する<br>・身近な自然に親しみ、調べたり、遊びに取り入れて楽しむ場を設定する | ・夏ならではの遊びが十分に行えるように、場の設定や子どもの健康に配慮していく<br>・夕涼み会に向けて、自らが取り組む活動を多くするとともに、一人一人が頑張って力を出せるような時間や場を設定する<br>・子ども一人一人の気持ちを十分に受け止め、仲立ちしていく中で友だちとの関わりが持てるようにしていく<br>・工夫したり試したりできるように、材料や準備、掲示の方法や場の環境を工夫する<br>・子どもの感性や発送を意欲や好奇心につなぐ | ・力一杯体を動かし、<br>・運動会に向けて、共<br>・活動意欲の高まりと<br>切さに気づかせる<br>・身近な素材や自然を<br>く姿を大切に見守り、<br>・自分たちで遊びに必<br>も聞き、考えたり、工夫 | |
| 行事 | 入園式　自由参観日　家庭訪問<br>**親子遠足**　花祭り | 参観日　歯科検診及び指導　七夕まつり<br>**水泳教室**　笹まき作り　**夕涼み会**　社会見学 | 祖父<br>りんご狩り　参 | |
| | 身体測定　交通安全指導　災害避難訓練　誕生会（毎月実施）　園外保育（4～11月） | | | |
| 連携交流 | 若桜学園との交流（1年生　9年など　8年生職場体験）　　老人施設との交流（あすなろ　ドリーミー）　　未就園児との交流 | | | |

５歳児の年間指導計画の中の運動遊びや体力向上に係る内容について、色付けすることで、共通実践する内容が全教職員に伝わりやすくなります。

## わかさこども園の取組


運動遊び


運動教室


トップアスリート交流


親子運動教室


八幡タイム

## 若桜学園の取組


業間ランニング

柔軟の日



課題であった柔軟性が高まり、運動好きの子どもが増えている等の成果があります。


トップアスリート教室


体力向上講演会

**【担当者より】**

一貫教育協議会を中心に、若桜学園とわかさこども園そして教育委員会が同じ方向に向かって取り組めるようになりました。

特に、体力向上については、接続期に身に付けさせたい力を年間指導計画やアプローチカリキュラムに位置付けたことで具体的なイメージをもつことができ、取組が充実してきました。体力向上以外の項目についてもカリキュラムへの位置付けを工夫するとともに、一層の保育・教育の充実を図るため、連携して取り組んでいきます。



# 〈実践４〉　鳥　取　市

鳥取市では、「子どもの学びと育ちをつなぐ」をテーマに、モデル地域である醇風小学校区（醇風小学校、鳥取第二幼稚園・おひさま保育園、みたから保育園、むつみ保育園）が相互理解を基盤とした幼保小の連携を推進してきました。

## 組　織　を　つ　な　ぐ

### 相互理解を支える醇風小学校区の組織

**幼保小連携協議会（隔月開催）**

情報交換や実践についての総括

＜メンバー＞

校長、各園長



各会には、**園と小学校の教職員が参加**。校区で共有した就学前後に校区で育てたい子どもの姿をもとに、**共通実践や交流活動、カリキュラム編成等について協議**。

**幼保小連絡会（年３回）**

児童・園児に関する情報交換

- １、２年生と４、５歳児の様子
- 交流活動等について
- 就学に向けての引き継ぎ

＜メンバー＞

１・２年生担任、教頭

４・５歳児担任、副園長



**幼保小連携推進委員会**

接続カリキュラム編成・接続期の実践の共有

- 幼保小の教職員が、学びのつながりを意識しながら、接続カリキュラムを一緒に編成

＜メンバー＞

小学校１年担任

各園代表１名

鳥取市教育員会



H28年度　醇風小学校区幼保小連携推進に向けて

H28.6.15

**１　醇風小学校区幼保小連携の1年間の取組・内容**

（１）醇風小学校区幼保小連携協議会（園長・校長）５回（4月・6月（臨時）・7月・１１月・2月）
- ○情報交換（今年度の園児・児童の実態、園・学校の取組、西中校区の取組、その他）
- ○幼保小連携推進モデル事業について(6月)
- ○今年度の共通取組（園・学校の活動、保護者対応）
- ○今年度の共通取組評価・次年度共通取組

（2）醇風小校区幼保小連絡会(副園長・教頭・保育士・教諭)3回
- ①6月　○各園の年中・年長（支援を要する園児）の状況把握と１年生の状況の情報交換　〈外部機関も出席〉
  ○今年度の園児と児童の交流について等
- ②12月　○各園と小１・２年生情報交換、年間指導計画の見直し
  (スタートカリキュラムとアプローチカリキュラム)・・・カリキュラムの作成・見直しについては別途計画
- ③2月　○新１年生の状況把握、支援を要する新1年・年中園児の状況等

（3）教職員等の合同研修会)・・・7月28日、1月18日
- ○3園での保育体験(1年目…全職員、2年目…転任職員と担当者)

**２　年間計画、担当園・校**

| | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | H32年度 | H33年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 連携協議会(４月・６月・２月) | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 |
| 連携協議会(７月) | 認定こども園 | 認定こども園 | 認定こども園 | 認定こども園 | 認定こども園 | 認定こども園 |
| 連携協議会(１１月) | みたから保育園 | むつみ保育園 | みたから保育園 | むつみ保育園 | みたから保育園 | むつみ保育園 |
| 連絡会（６月）<br>・年中・年長・1年の情報交換 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 |
| 連絡会（１２月）<br>・小１・２年生情報交換、年間指導計画の見直し<br>（スタートカリキュラムとアプローチカリキュラム） | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 |
| 連絡会（２月）<br>・新1年生の状況把握 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 | 醇風小 |
| 合同研修会（７月、１月） | 醇風小 | | 醇風小 | | 醇風小 | |
| 教員保育体験（7月）全教員、転入教員と交互に実施 | 3園（全教員） | 認定こども園（転入職員） | 3園（全教員） | 認定こども園（転入職員） | 3園（全教員） | 認定こども園（転入職員） |

**３　その他**
- ○親子読書推進・・・年代に応じた本のリスト配布（醇風小より3園へ）

年度当初に開催予定や担当園・校を示すことで、各組織が開催の**見通しや議題の整理、準備**を行うことができます。また、定期的に**複数回にわたり会を実施**したことで、顔見知りの関係ができ、情報交換だけでなく、**気軽に相談できる関係**ができました。

# 人　を　つ　な　ぐ

## 相互理解を推進する研修

### 幼保小合同授業研究会

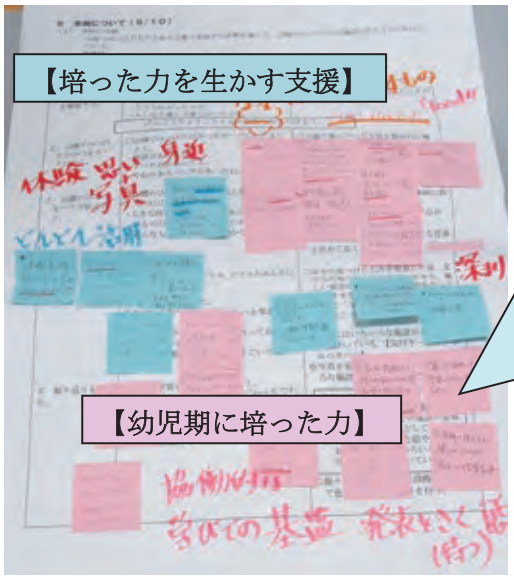
生活科の授業実践・研究会のテーマ
「幼児期に培った力を生かし、
主体的に学ぶための生活科の授業づくり」







１年生の子どもたちは、**幼児期に培った自分の思いを表現する力、集中して物事に取り組む力、自分の課題として取り組む主体性を発揮**して授業に取り組んでいます。




**幼児期に培った力が子どもたちの学びをどう支えているか、また、その力をさらに伸ばしていくために必要な支援や環境の構成について協議**。幼保小のそれぞれの教育の理解や学びの連続性について理解を深める研修となる。

研究会では、幼児期に培った力が生かされている様子を桃色の付箋に、さらに生かすための支援や環境の構成を水色の付箋に書き、**拡大指導案に貼りながら協議**しました。



### 保育体験研修会

子どもたちと一緒に遊ぶ中で、**幼児期の遊びの果たす役割や子どもたちの主体性を育む環境の構成や援助の在り方について学ぶ。**２年間で小学校全教職員が夏季休業中に参加。



鳥取第二幼稚園・
おひさま保育園

**保育体験後に幼保小の教職員で協議**

子どもが自分たちの活動と思えるように、保育者は、活動をつなげながら子どもの気持ちを高めています。**道具や材料、環境設定に、こうして遊んでほしいという保育者の思いやねらいを反映**させています。（園長の説明）

**年長の子どもたちは先生の話を聞き、時計を見ながら、自分で判断**していて驚きました。１年生の姿に近づいていると感じました。（小学校教職員）



# 教育をつなぐ　相互理解を深めるカリキュラム

## アプローチカリキュラム

接続カリキュラムは、校区の子どもたちの実態から園と小学校が共通の方向性を示すものとして、**就学前後に校区で育てたい子どもの姿**を示しています。

**接続カリキュラム**

（教育目標）
『生きる力があふれる子ども』の育成　～あかるく・やさしく・たくましく～

鳥取第二幼稚園おひさま保育園

**接続カリキュラム**

（保育方針）
・生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、健康でしなやかな心と体を育てる
・いろいろな遊びや活動を通し、人とのかかわりを深めながらともに支えう仲間づくりをする

（　みたから保育園

**接続カリキュラム**

（保育方針）
仲間とともに生き生きと活動し、心豊かでたくましい子どもを育成する

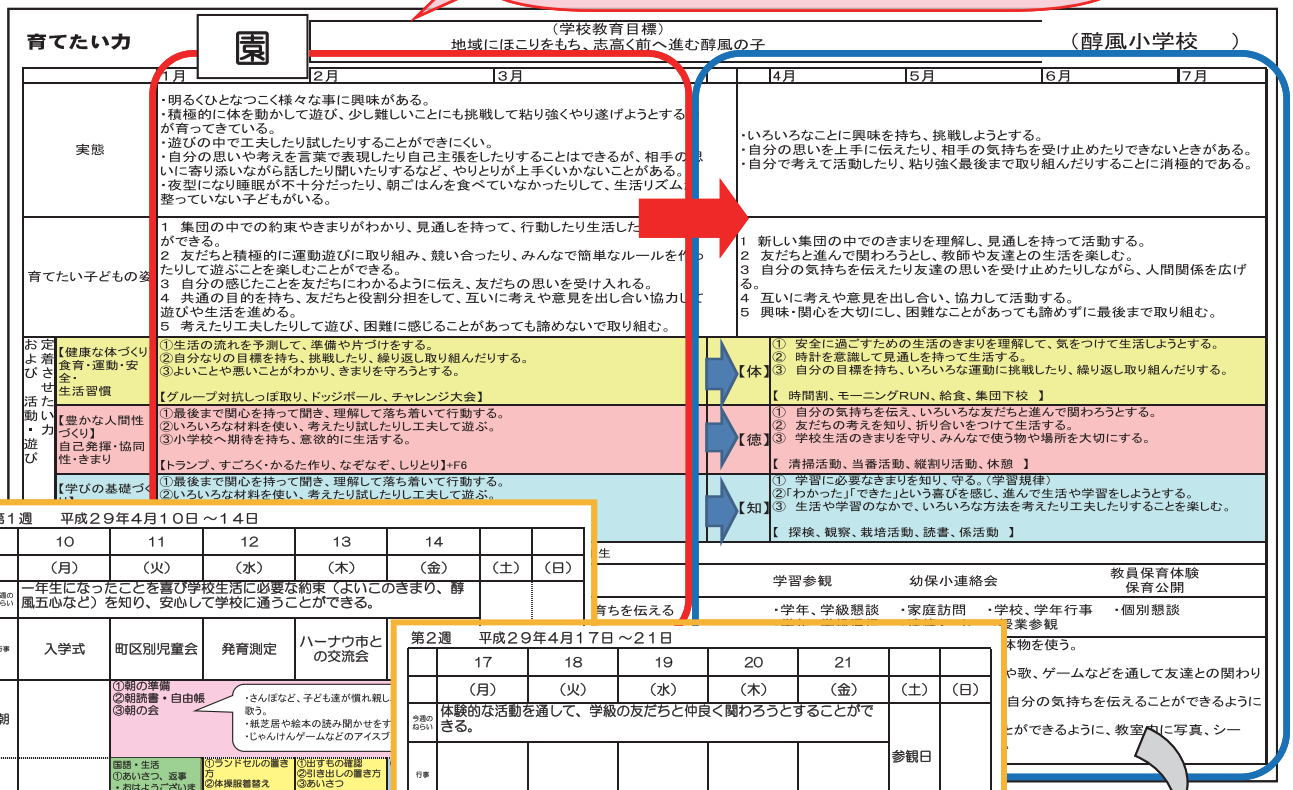
（　むつみ保育園

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実態 | ・明るくひとなつこく様々な事に興味がある。<br>・積極的に体を動かして遊び、少し難しいことにも挑戦して粘り強くやり遂げようとする力が育ってきている。<br>・遊びの中で工夫したり試したりすることができにくい。<br>・自分の思いや考えを言葉で表現したり自己主張をしたりすることはできるが、相手の思いに寄り添いながら話したり聞いたりするなど、やりとりが上手くいかないことがある。<br>・夜型になり睡眠が不十分だったり、朝ごはんを食べていなかったりして、生活リズムが整っていない子どもがいる。 | | | | | | ・いろいろなことに興味を持ち、挑戦しようとする。<br>・自分の思いを上手に伝えたり、相手の気持ちを受け止めたりできないときがある。<br>・自分で考えて活動したり、粘り強く最後まで取り組んだりすることに消極的である。 | | | |
| 育てたい子どもの姿 | 1　集団の中での約束やきまりがわかり、見通しを持って、行動したり生活したりすることができる。<br>2　友だちと積極的に運動遊びに取り組み、競い合ったり、みんなで簡単なルールを作ったりして遊ぶことを楽しむことができる。<br>3　自分の感じたことを友だちにわかるように伝え、友だちの思いを受け入れる。<br>4　共通の目的を持ち、友だちと役割分担をして、互いに考えや意見を出し合い協力して遊びや生活を進める。<br>5　考えたり工夫したりして遊び、困難に感じることがあっても諦めないで取り組む。 | | | | | | 1　新しい集団の中でのきまりを理解し、見通しを持って活動する。<br>2　友だちと進んで関わろうとし、教師や友達との生活を楽しむ。<br>3　自分の気持ちを伝えたり友達の思いを受け止めたりしながら、人間関係を広げる。<br>4　互いに考えや意見を出し合い、協力して活動する。<br>5　興味・関心を大切にし、困難なことがあっても諦めずに最後まで取り組む。 | | | |
| 定着させたい力および活動・遊び　【健康な体づくり】食育・運動・安全・生活習慣 | ①食事、着脱、排泄など、生活に必要な活動を自分でする。<br>②積極的に運動遊びに取り組み、競い合ったりルールを作って遊んだりする中で、体力をつける。<br>③ルールの必要性や危険なことに気づき、安全に行動しようとする。<br>【サッカー、跳び箱、リレー、縄跳び、おにごっこ　】 | | | ①生活の流れを予測して、準備や片づけをする。<br>②自分なりの目標を持ち、挑戦したり、繰り返し取り組んだりする。<br>③よいことや悪いことがわかり、きまりを守ろうとする。<br>【グループ対抗しっぽ取り、ドッジボール、チャレンジ大会】 | | | 【体】 | ①　安全に過ごすための生活のきまりを理解して、気をつけて生活しようとする。<br>②　時計を意識して見通しを持って生活する。<br>③　自分の目標を持ち、いろいろな運動に挑戦したり、繰り返し取り組んだりする。<br>【　時間割、モーニングRUN、給食、集団下校　】 | | | |
| 定着させたい力および活動・遊び　【豊かな人間性づくり】自己発揮・協同性・きまり | ①友だちと積極的にかかわり、相手の気持ちを考える。<br>②自分の経験したことや困っていることを相手にわかるように話す。<br>③友だちと共通の目的を持ち、ルールを守りながら遊びを楽しむ。<br>【お店屋さんごっこ、エコ遊び、給食当番、とんとん隊、伝言ゲーム、異年齢交流】 | | | ①自分の感じたことや考えたことを伝え、友だちの思いも受け入れて折り合いをつけて遊ぶ。<br>②異年齢の友だちの様子に気づき、声をかけたり優しくしたりする。<br>③友だちと役割分担をし、互いに考えを出し合いながら、遊びや生活を進める。<br>【ゆうびんごっこ、あいさつ当番、ゴミ集め】 | | | 【徳】 | ①　自分の気持ちを伝え、いろいろな友だちと進んで関わろうとする。<br>②　友だちの考えを知り、折り合いをつけて生活する。<br>③　学校生活のきまりを守り、みんなで使う物や場所を大切にする。<br>【　清掃活動、当番活動、縦割り活動、休憩　】 | | | |
| 定着させたい力および活動・遊び　【学びの基礎づくり】意欲・探究心・表現 | ①五感を使った遊びを通して、感じたり考えたり工夫して遊びを発展させようとする。<br>②日常生活の中で、数や文字に関心を持ち、生活に取り入れる。<br>③生活や遊びを通して、感じたことや考えたことなどを自由に描いたり、作ったり、演じたりして遊ぶ。<br>【草花、どんぐりなど自然物を使った遊び、劇遊び、楽器遊び】 | | | ①最後まで関心を持って聞き、理解して落ち着いて行動する。<br>②いろいろな材料を使い、考えたり試したりし工夫して遊ぶ。<br>③小学校へ期待を持ち、意欲的に生活する。<br>【トランプ、すごろく・かるた作り、なぞなぞ、しりとり】 | | | 【知】 | ①　学習に必要なきまりを知り、守る。（学習規律）<br>②「わかった」「できた」という喜びを感じ、進んで生活や学習をしようとする。<br>③　生活や学習のなかで、いろいろな方法を考えたり工夫したりすることを楽しむ。<br>【　探検、観察、栽培活動、読書、係活動　】 | | | |
| 児童と園児の交流 | ・なかよくなろう集会 | ・おもちゃまつり | | むかしのあそびまつり | | | | | | |
| 職員の連携 | ・幼保小連絡会 | | | ・幼保小連絡会 | ・新1年生の情報交換 | | ・学習参観（小学校） | | ・幼保小連絡会 | ・教員保育体験<br>・保育公開 |
| 家庭連携 | ・良い面や成長している姿を伝える（個別懇談） | | ・保護者の期待や不安に寄り添う（クラス茶話会）<br>・集団の中での育ちを伝える（保育参観） | | | | ・学年、学級懇談<br>・学年、学級通信 | ・家庭訪問<br>・連絡ノート | ・学校、学年行事<br>・授業参観 | ・個別懇談 |
| 環境構成・留意点 | ・自分なりの目標を持って取り組み、力を発揮して遊ぶことができるように、運動遊びに必要な遊具を準備したり場を確保したりする。<br>・相手の思いを聞いて受け入れながら遊ぶ姿を言葉に出して認め、自信を持ってかかわっていけるようにする。<br>・秋の自然物を使い遊びに取り入れて楽しめるよう様々な材料を用意したり、遊びのアイデアを一緒に考えながら遊べる時間を確保したりする。<br>・不思議に感じた事や身…ことができるよう図鑑や… | | | ・遊び道具や素材など、自分で選んで遊び出せるように準備しておき、自由に使ったり、友だちと誘い合って遊んだりできるようにしておく。<br>・活動の始まりと終わりや、生活の流れが意識できるよう、事前にスケジュールを伝え、見通しを持って過ごせるような言葉かけをする。<br>・友だち同士のかかわりの中で困った事や失敗することも経験しながら自分たちで考えたり話し合ったりできるように促し、解決する力… | | | | ・学習活動が理解しやすいように、具体物を使う。<br>・モジュール学習を取り入れる。<br>・新しい集団になれるために、ゲームを通して友達との関わりを増やす。<br>・生活の中でトラブルが生じたときに、自分の気持ちを伝えることができ… | | | |

就学前後に校区で育てたい子どもの姿をもとに、**各園が園の保育・教育目標等に照らし合わせながら、定着させたい力やそれを育む活動や環境の構成等を検討し、編成**しています。

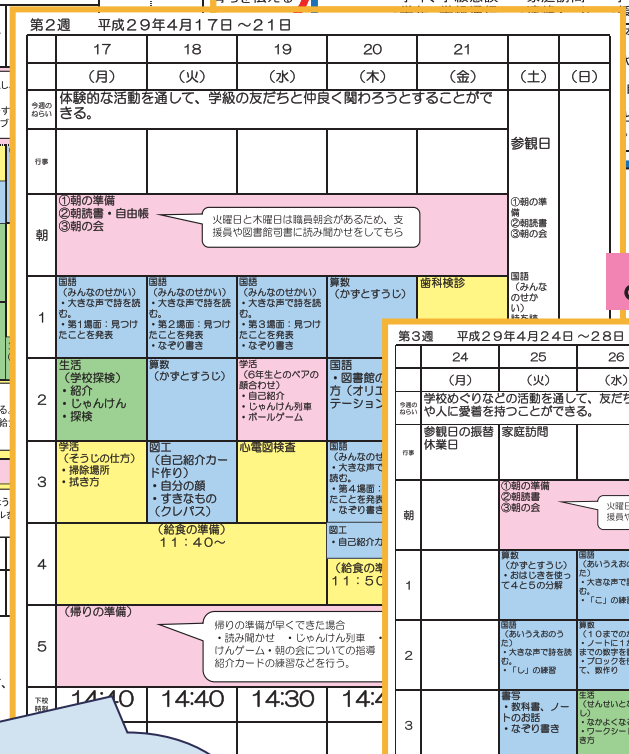
# スタートカリキュラム

園での経験等を知っておくことで、子どもの思いや願い、体験を踏まえた学習や活動を仕組むことができます。

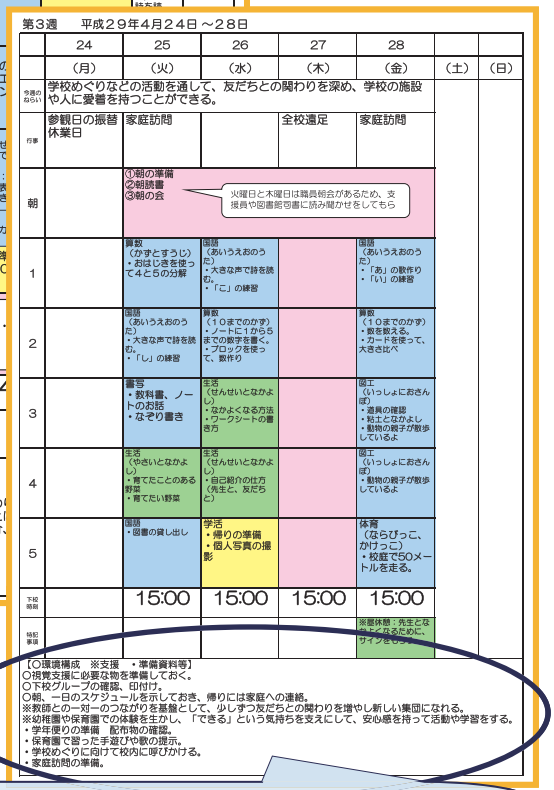









より具体的に




週案を作成する際には、教師の意識化を図るために、学習を以下のように色分けをしています。

**桃色：幼児期の体験を生かした学習**

**黄色：学校の生活に関する学習**

**緑色：生活科を中心とした合科的・関連的な学習**

**水色：教科等を中心とした学習**

１週目の黄色（生活に関する学習）や緑色（生活科を中心とした学習）から、次第に水色（教科）の時間が多くなることが分かります。また、子どもの集中時間に合わせて、１単位時間を分割しながら、弾力的に運用しています。

幼児期に培った力が生かせたり、**安心して人間関係が構築できたりするような援助や環境の構成を留意点として記載**しています。

# 視覚的カリキュラム

H29年度　醇風小学校　視覚的カリキュラム　　第1学年2組

生活・総合との関連　地域の学習材（人）　地域の学習材（出かけたこと）　1．2年生の交流　園との交流

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国語 | ・みんなのせかい<br>・はきはきあいさつ<br>・よろしくね<br>・じをかこう<br>・ほんがたくさん | ・あいうえおのうた<br>・あめですよ<br>・ふたとぶた<br>・ともだちにはなそう<br>・とんことんと<br>・ねことねっこ | ・ことばあそび<br>・あひるのあくび<br>・ぶんをつくろう<br>・おばさんとおばあさん<br>・きいてつたえよう<br>・「は」「へ」「を」をつかってぶんをかこう | ・どうやってみをまもるのかな<br>・山、やといしゃ<br>・こんなことしたよ<br>・おおきなかぶ<br>・ほんのひろば<br>・えにっきをかこう | | ・あるけあるけ/木<br>・はなしたいなきたいな<br>・かんじのはなし<br>・かいがら<br>・かぞえうた | ・サラダでげんき<br>・かたかなをかこう<br>・ほんはともだち<br>・わたしのはっけん<br>・よう日と日づけをおぼえよう | ・いろいろなふね<br>・おもい出してかこう<br>・「すきなものクイズ」をしよう | ・ことばあそびうたをつくろう<br>・おとうとねずみチロ | ・みみずのたいそう<br>・むかしばなしをたのしもう<br>・おはなしをつくろう<br>・歯がぬけたらどうするの | ・「じゃんけんやさん」をひらこう<br>・まとめてよぶことば<br>・スイミー | ・かたちのにているかん字<br>・「おもいでブック」をつくろう | 306 |
| 算数 | ・オリエンテーション<br>・かずとすうじ | ・なんばんめ<br>・いくつといくつ | ・いろいろなかたち<br>・ふえたりへったり<br>・たしざん（1）<br>・ひいざん（1） | ・20までのかず | ・よみとるさんすう<br>・とけい（1）<br>・おおきさくらべ（1） | | ・3つのかずのけいさん<br>・たしざん（2） | ・かたちづくり<br>・ひきざん（2） | ・0のたしざん<br>・ものとひとのかず | ・大きいかず | ・とけい（2）<br>・100までのかずのけいさん<br>・おなじかずずつ | ・おおきいほうすくないほう<br>・おおきさくらべ（2） | 136 |
| 行事・特活 | 入学式<br>全校遠足 | 交通安全教室 | プール開き<br>新体力テスト | なかよし集会 | | | 前期終業式<br>後期始業式 | 醇風フェスティバル | なかよし集会<br>創立記念式 | 給食週間 | なかよし集会<br>めざまし集会 | 6年生を送る会<br>卒業式<br>修了式 | |
| 生活 | スタートカリキュラム<br>花ややさいをそだてよう　・あさがおをうえよう②　・夏野菜をうえよう②　・あさがおと夏やさいをそだてよう。<br>みんなとなかよし（2）<br>ともだちたくさんつくろう（2）<br>・わたしのがっこうわたしのきょうしつ② | | なつとなかよし（7）<br>おもしろいあそびがいっぱい（5）<br>・どんなあそびが」あるかな①<br>・すなあそびをしよう②<br>・しゃぼんだまあそびやみずあそびをしよう②<br>・いろみずあそびをしよう② | | なつはたのしいことがいっぱい（2）<br>・たのしみだね、みんなとすごすなつやすみ② | | あきとなかよし（13）<br>あきはたのしいことがいっぱい（13）<br>・できたよ、むしのうち②<br>・むしのふしぎをみつけた④<br>・たのしいね、あきのあそび③<br>・きれいだね、おもしろいね④<br>・どんなあき、こんなあき② | ふゆとなかよし（18）<br>ふゆをみつけたよ（7）<br>・ふゆがやってきた②<br>・いろいろあるね、ふゆのくらし②<br>・こんなものができたよ③ | みんなかぜの子（8）<br>・かぜであそんだよ④<br>・つめたいね、たのしいね②<br>・おもしろいね、ひかりとかげ② | はるをさがそう（3）<br>・小さい「はる」見つけた③ | | 102 |
| | みんなとなかよし（19）<br>ともだちたくさんつくろう（2）<br>・おにいさん　おねえさん　よろしくおねがいします② | | わたしのがっこうどんなところ（7）<br>・がっこうたんけんにしゅっぱつしよう②<br>・せんせいとなかよくなろう②<br>・こうていでもみつけたよ①<br>・きいておしえてみつけたこと② | | わたしのつうがくろ（10）<br>・まちのようすをおしえてもらおう<br>・がっこうにくるみちでみつけたよ②<br>・みんなにまもられているんだね②<br>・みんなのこうえんだね②<br>・こうえんでみつけたよ② | | あきとなかよし（12）<br>あきとふれあおう（6）<br>・むしたちはどんなところにいるのかな、みつけよう③<br>・あきがいっぱいだね②<br>・どんないろ、どんなにおい、どんなおと② | つくろうあきのおくりもの（6）<br>・おしえてあげたいな、たのしいあき④<br>・おしえてあげるね、たのしいあき② | ふゆとなかよし（14）<br>かぞくでいっしょにおしょうがつ（5）<br>・あたらしいとしをむかえるよ②<br>・へんしん、むかしあそび名人③ | もうすぐ2年生（9）<br>・たのしかったよ1年かん③<br>・ようこそあたらしい1年生④<br>・ありがとうわたしたちのきょうしつ② | | |
| 学習の地域の材 | 校区探検に出かける<br>鹿野街道コース、<br>大森神社コース | 公園に出かける1<br>玄好町公園 | 野菜づくり<br>田中和子さん、野村好子さん、<br>米谷みずほさん,岡本敦子さん | ちまきづくり<br>田中和子さん、米谷みずほさん、野村好子さん、竹内邦子さん、<br>岡本敦子さん、岡本芳子さん、山内知子さん、松岡照子さん | | | | むつみ保育園<br>みたから保育園 | 公園に出かける2<br>玄好町公園 | むつみ保育園<br>みたから保育園 | むかしのあそび<br>（児童のおじいさん、おばあさん） | 体験入学<br>入学予定の園児 | |
| 音楽 | ・うたでなかよしになろう | ・はくをかんじてあそぼう | ・はくをかんじてリズムをうとう | ・どれみでうたったりふいたりしよう | | | | ・ようすをおもいうかべよう | ・いろいろなおとをたのしもう | ・にほんのうたをたのしもう | ・おとをあわせてたのしもう | | 68 |
| 図工 | ・おひさまにこにこ<br>・すきなものなあに | ・ひもひもねんど<br>・みんなでかざろう | ・ちょきちょきかざり<br>・にじうおとあそんだよ | ・すなやつちとなかよし | ・コロコロぺったんシャカシャカ<br>・ごちそうパーティーをはじめよう！ | | ・みてみておはなし<br>・でこぼこはっけん！ | ・のってみたいないきたいな | ・おもちゃをつくろう | ・いろいろペッタンかみはんが | ・なにがでてくるかな | ・コロコロゆらりん | 68 |
| 体育 | ・からだほぐしのうんどう<br>・ゆうぐあそび | ・てつぼうあそび<br>・おにあそび | ・どうぶつランド<br>・水あそび<br>・のりものランド | | ・かけっこ・リレー | | | ・マットあそび | ・とびばこあそび | ・ようぐをつかったあそび | ・うごきをつくるあそび | ・ボールけりゲーム | 102 |
| 道徳 | ・たのしいがっこう<br>・あいさつ「おはようございます」 | ・どうしてそうするの<br>・バムのおかたづけ<br>・きんのおの | ・よしのうえのおおかみ<br>・めだかのめぐ<br>・ぼくのあさがお<br>・あたらしいいのち | ・はち<br>・わた<br>いせ<br>・はな | | | | | | | | | |

幼児期に培った力を生かすにはどのような教育課程や学習展開が有効かについて検討を重ね、生活科を中心に各教科を関連させた視覚的カリキュラムへ反映させました。この視覚的カリキュラムは全学年で編成し、生活科や総合的な学習を核に教科間の関連を積極的に図ることで、幼児期から低学年、低学年から中学年以降の教育への円滑な接続が図られるようにしています。

## 接続期の保育・教育の実際

カリキュラムをつなぎ、交流活動を園の遊びに発展させることで、**思考力や探究心などの学びの芽生えを育むという保育者の意識が高まりました。**









**『おもちゃまつり』（交流活動）**
１年生が作ったどんぐり迷路で楽しく遊びました。

**交流活動を遊びにつなぐ**

**『どんぐり迷路を作ってみよう』**
**１年生の工夫を真似たり、友だちと相談したりしながら作る姿**が見られました。



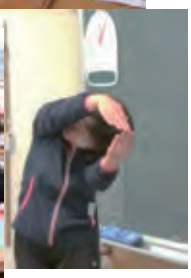



**学び方をつなぐ**









ごっこ遊び等を通して、必要な物を考え**夢中で制作**したり、どうしたら遊びが楽しくなるか**話し合ったり**、異年齢児とのやりとりの中で**折り合い**をつけたりする力が育ちます。

生活科を中心に、**体験や人との関わりの中での気付きを意識的に引き出す活動**を構成し、**気付きの質を高めたり、学びに向かう力を伸ばしたりしています。**

**【担当者より】**

鳥取市では、「ふるさとを思い　志を持つ子」の育成をめざして、平成２３年度から小中一貫教育に取り組み、各中学校区で小中９年間を見通した教育活動を展開してきました。この成果を、幼保小連携に広げるために本事業における醇風小学校区の実践をもとに「幼保小連携推進リーフレット」を作成しました。鳥取市内各園、小学校、中学校などに配布するとともに、園長会、副園長会、校長会等でも研修し、各学校の幼保小連携のための研修資料としていく計画です。

内容は、醇風小学校区の連携の体制づくり、職員の交流、接続カリキュラムの作成と実践や効果などについてです。今後、各中学校区での幼保小連携が積極的に図られるように支援していきたいと考えています。






# 〈実践５〉 境　港　市

境港市では、幼保小連携・接続に関する取組として、これまで生徒指導と特別支援教育における連携を中心に取り組んできました。近年は、様々な背景を有している子どもたちについて、幼保小をつなぐ役割として、教育委員会に籍を置く「特別支援コーディネーター」が連携の中心を担っています。

平成２８年度には、「子どもの学び」に視点を置いた滑らかな接続を進めるために、「体力づくり」の観点で、中浜小学校となかはま保育園が連携して実践に取り組みました。

## 組織をつなぐ

## 人をつなぐ

接続期の幼児・児童の特性を理解して、「体力づくり」の観点で連携を進め、接続カリキュラムの編成に取り組みました。双方の教職員がお互いの子どもの年齢における発達段階・特性等を理解することで、「園児・児童の成長」「発達段階に応じた指導内容」等についても連携を進めることができるものと考えています。

## 教育をつなぐ

### 保小連携　接続カリキュラム

（鳥取県境港市立なかはま保育園・中浜小学校）

| （めざす児童像） | （保小の連携事業） |
|---|---|
| 1. 豊かな心をもち，思いやりのある子（徳）<br>2. 自ら学び，自ら考え，表現する子（知）<br>3. 体を鍛え，健康で明るい子（体）<br>4. ねばり強く，たくましい子（情） | ○保育園交流（年長児と5年生による交流活動），低学年との交流<br>○新入学説明会<br>○保小連絡会，保小連携事業の一環で，相互授業参観等<br>○市民運動会などさまざまな行事や活動での交流 |

| | 小学校生活へつながる保育・教育活動 | | 保育園での経験を生かした指導の工夫 |
|---|---|---|---|
| 定着させたい力および活動・遊び | 5歳（境港市立なかはま保育園　年長　） | | 6歳（境港市立中浜小学校　1年生　） |
| ○自律した生活の基礎<br>○食育<br>○運動・安全 | ○落ち着いて話を聞く時間を長くする。<br>○1日の生活の流れを知らせ，見通しを持たせる。<br>○午睡のない生活リズムを確立する。<br>○食事の大切さを知り，マナーを守って食べる。<br>○様々な遊びや運動に関心を持ち，友だちと工夫して遊ぶ。<br>○友だちと体を十分に動かして遊びを楽しむ。<br>○あいさつや返事，ルールを守るなど，接続を意識した指導を行う。 | 生活する力 | ○安全に過ごすための生活のきまりを理解して，気をつけて生活しようとする。<br>○時間や時計を意識して見通しを持って行動しようとする。<br>○給食の配膳や食事のマナーが分かり，楽しく食べられるようになる。<br>○自分の目標を持って，意欲的に運動遊びをすることができる。<br>○目的に応じて遊具や用具を選び，安全に使えるようになる。 |
| ○協同<br>○自己発揮<br>○規範（きまり） | ○きまりやルールを伝え合って，共有して遊ぶ。<br>○自分の役割に応じた行動がとれるようになる。<br>○みんなで力を合わせてやり遂げる喜びを感じることができる。<br>○自分たちで決めたルールを大切にしながら遊びや活動を発展させる力がつく。<br>○共同の遊具や用具を大切にし，ゆずりあって使えるようになる。 | かかわる力 | ○新しい友だちとかかわる楽しさを覚え，進んで友だちや先生とかかわり，学校に行くのが楽しみになる。<br>○当番や係の仕事をすることの意味が分かり，友だちと協力できるようになる。<br>○相手の気持ちに気づくようになり，互いの思いや考えを言葉で伝え，友だちとかかわることができるようになる。<br>○上級生に助けられながら学校生活に慣れ，小学生の一員としての自覚と自信をもてるようになる。<br>○学校にも安全に過ごすためのきまりがあることを知り，守ろうとするようになる。 |
| ○意欲<br>○思考・創造<br>○表現 | ○身近な自然や社会の事象に興味・関心を持って関わる。<br>○試したり工夫したりして，遊びを深める。<br>○ルールのある運動遊びを数多く経験させる。<br>○室内外で好きな遊具で遊ぶ。<br>（砂場，芝生グラウンド，固定遊具，ゲーム，サッカー，ドッジボール，かけっこ，リレー，運動会ごっこ，とび箱，竹馬，フラフープ，ケンケンパ，しっぽ取りなど） | 学ぶ力 | ○学習に必要なきまりを知り，守ることができる。（学習規律）<br>○生活の中で文字や数字，標識などに関心を持ち，それらを取り入れたり用いたりして，工夫して遊んだり，学んだりする。<br>○友だちといっしょに学ぶ楽しさを知り，自分以外の人の考えを取り入れたり，参考にしたりする。<br>○考えたことや感じたことを友だちや先生に分かるように話せるようになる。<br>○活動をふり返り，楽しかったことや頑張ったこと，工夫したことなどに気づき，満足感を味わう。<br>○「できた，わかった」と感じるような，いろいろな動きや運動遊びをする。<br>（体ほぐし，遊具鉄棒，かけっこリレー遊び，鬼遊び，動物ランド，水遊び，とびっこ遊び，平均台とび箱遊び，バランス遊び，がんばりっこ， |

遊びや運動を体験する中で、『**できた、わかった**』と感じることが**学ぶ意欲**につながると考えます。

今回の公開授業で取り組んだ「遊びの要素を含んだ基礎的な体力づくりの活動」を柱の一つとして、**保育園での「遊び」から小学校への「体育科」への接続**を発展させていきたいと考えています。



## 第１学年　体育科学習指導案

１．単元名　　「なかはまジャンピングランドでたのしもう！」（とび箱遊び）

２．単元の目標

（１）とび箱遊びに進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。　【関心・意欲・態度】

（２）とび箱を使ったいろいろなとび箱遊びの工夫ができる。　【思考・判断】

（３）いろいろな条件のとび箱を、いろいろなとび方でとぶことができる。　【技能】

３．単元の評価規準

| （ア）関心・意欲・態度 | （イ）思考・判断 | （ウ）技能 |
|---|---|---|
| ①いろいろなとび箱に、いろいろなとび方で、意欲的に挑戦する。<br>②順番を守って運動する。<br>③とび箱や場の安全を確かめて運動する。<br>④自分や仲間の安全を確かめて運動する。 | ①自分の力に合っためあてをもつことができる。<br>②いろいろなとび箱遊びの工夫ができる。<br>③いろいろなとび方の練習のしかたがわかる。 | ①低いとび箱をできるとび方でとべる。<br>②新しいとび方でとぶことができる。<br>③いろいろな条件のとび箱を、いろいろなとび方でとぶことができる。 |

４．本時の学習と指導

（１）ねらい

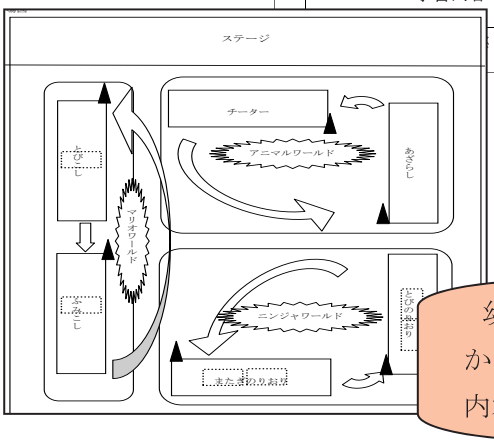
いろいろな場で遊びながら、とび箱をとびこしたりふみこしたり、手で体を支えてまたぎのったりおりたりすることができる。

（２）準備

笛、アンプ（CD）、マット、踏み切り板、とび箱、コーン、ポイント（こつ）カード

（３）展開

| 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
|---|---|
| （○指導▲評価△努力を要する児童への手立て◆運動の特性への手立て） | |




（・**ワールドの名前**：技のポイント）

・**アニマルワールド**

あざらし：両手で体をしっかり支える

チーター：前を見て両手で体を支えて跳ぶ

・**マリオワールド**

とびこし：かたあしでふみきって、たかく跳ぶ

ふみこし：リズムよくとび箱をふんで両足で着地する

・**ニンジャワールド**

またぎのりおり：両足でふみきってのり、とび箱を強く押しておりる

両足をひきつけてとび箱にのり、両足をそろえて着地する





幼児期に培った力をどのように小学校の教科学習で生かしていくのか協議を行い、園の運動遊びで実践できる内容の動き、興味・関心を高める場の設定を考えました。

**【担当者より】**

今回の取組で、幼児期の子どもの特性について、相互の教職員の理解が深まりました。また、子どもの学びをつなぐ具体的なツールとして、接続カリキュラムを編成することができました。今後は、子どもの学びに視点を置いた滑らかな接続について、集団の中での学習規律や教科・領域等に関する連携体制整備を進める必要性を感じています。そのためにも、この接続カリキュラムを改善しながら、中浜小学校区内の他の園との連携や市内の各小学校における幼保小の連携に生かしていきたいと考えています。

小学校や保育園の現場の教職員の現状は大変多忙です。そのような中で、お互いが行き来することによって連携を深めることは、大変難しい現状があります。これからの幼保小の連携をより進めるために、人的配置を含めた業務改善は大変重要な課題であり、今後の取組の重点としていきます。

